

令和5年度 入学試験要項

国際教養学科

- 総合型選抜(Ⅰ期・Ⅱ期・Ⅲ期・Ⅳ期・Ⅴ期)
- 学校推薦型選抜(Ⅰ期・Ⅱ期)
- 一般選抜(特待生)
- 一般選抜(Ⅰ期・Ⅱ期)
- 共通テスト利用選抜(Ⅰ期・Ⅱ期・Ⅲ期)
- 社会人選抜(Ⅰ期・Ⅱ期)
- 帰国生徒選抜(Ⅰ期・Ⅱ期)
- 長期履修学生選抜(Ⅰ期・Ⅱ期)

アドミッション・ポリシー

国際教養学科では、以下のような能力・資質・希望を持つ人を広く求めています。

1. 高等教育を受けるにふさわしい基礎学力と学習意欲を備えた人
 2. 国際的視野、幅広い教養、コミュニケーション能力を身につけたい人
 3. 専門的、職業的な知識・技能を身につけ、地域社会に貢献したい人
- 様々な可能性を持つ人を受け入れるため、多様な選抜方法による入学試験を実施します。

目次

令和5年度入学定員・試験区分別募集人員・試験日程・試験地	P.1
総合型選抜入試要項	P.2～3
学校推薦型選抜Ⅰ期(指定校)入試要項	P.4
学校推薦型選抜Ⅰ期(公募)入試要項	P.5
学校推薦型選抜Ⅱ期(指定校)入試要項	P.6
学校推薦型選抜Ⅱ期(公募)入試要項	P.7
一般選抜(特待生)入試要項	P.8
一般選抜(Ⅰ期・Ⅱ期)入試要項	P.9
共通テスト利用選抜(Ⅰ期・Ⅱ期・Ⅲ期)入試要項	P.10
社会人選抜(Ⅰ期・Ⅱ期)入試要項	P.11
帰国生徒選抜(Ⅰ期・Ⅱ期)入試要項	P.12
長期履修学生選抜(Ⅰ期・Ⅱ期)入試要項	P.13
入試配点表	P.14
受験上及び修学上の配慮や支援が必要な入学志願者の事前相談について	P.14
新型コロナウイルス関連	P.14
特待生・入学金免除制度等について	P.15
留学支援奨学制度について	P.16
入学検定料の減額について	P.16
学校法人南九州学園災害等罹災者学納金減免制度について	P.16
納入金について	P.16
入学辞退について	P.16
試験場案内	P.17
入学願書記入上の注意事項について	P.18
入学願書記入について	P.18
個人情報の取り扱いについて	P.18
入学願書記入例	P.19～21
高等学校コード表	P.22～25
令和4年度入学試験問題	P.26～43
令和4年度入学試験問題解答例	P.44～45
巻末添付ー願書・推薦書・履歴書・総合型選抜エントリーシート・資格スカラシップ制度申請書・封筒(出願用、受験票返信用)	

アドミッション・ポリシー

国際教養学科では、以下のような能力・資質・希望を持つ人を広く求めています。

1. 高等教育を受けるにふさわしい基礎学力と学習意欲を備えた人
 2. 国際的視野、幅広い教養、コミュニケーション能力を身につけたい人
 3. 専門的、職業的な知識・技能を身につけ、地域社会に貢献したい人
- 様々な可能性を持つ人を受け入れるため、多様な選抜方法による入学試験を実施します。

目次

令和5年度入学定員・試験区分別募集人員・試験日程・試験地	P.1
総合型選抜入試要項	P.2～3
学校推薦型選抜Ⅰ期(指定校)入試要項	P.4
学校推薦型選抜Ⅰ期(公募)入試要項	P.5
学校推薦型選抜Ⅱ期(指定校)入試要項	P.6
学校推薦型選抜Ⅱ期(公募)入試要項	P.7
一般選抜(特待生)入試要項	P.8
一般選抜(Ⅰ期・Ⅱ期)入試要項	P.9
共通テスト利用選抜(Ⅰ期・Ⅱ期・Ⅲ期)入試要項	P.10
社会人選抜(Ⅰ期・Ⅱ期)入試要項	P.11
帰国生徒選抜(Ⅰ期・Ⅱ期)入試要項	P.12
長期履修学生選抜(Ⅰ期・Ⅱ期)入試要項	P.13
入試配点表	P.14
受験上及び修学上の配慮や支援が必要な入学志願者の事前相談について	P.14
新型コロナウイルス関連	P.14
特待生・入学金免除制度等について	P.15
留学支援奨学制度について	P.16
入学検定料の減額について	P.16
学校法人南九州学園災害等罹災者学納金減免制度について	P.16
納入金について	P.16
入学辞退について	P.16
試験場案内	P.17
入学願書記入上の注意事項について	P.18
入学願書記入について	P.18
個人情報の取り扱いについて	P.18
入学願書記入例	P.19～21
高等学校コード表	P.22～25
令和4年度入学試験問題	P.26～43
令和4年度入学試験問題解答例	P.44～45
巻末添付ー願書・推薦書・履歴書・総合型選抜エントリーシート・資格スカラシップ制度申請書・封筒(出願用、受験票返信用)	

入学定員・試験区分別募集人員

入学定員・試験区分別募集人員	100人
学校推薦型選抜(Ⅰ期・Ⅱ期)	70人
一般選抜(特待生)	30人
一般選抜(Ⅰ期・Ⅱ期)	
共通テスト利用選抜(Ⅰ期・Ⅱ期・Ⅲ期)	
総合型選抜(Ⅰ期・Ⅱ期・Ⅲ期・Ⅳ期・Ⅴ期)	各若干名
社会人・帰国生徒・長期履修学生選抜(Ⅰ期・Ⅱ期)	

試験日程

試験区分		出願期間(必着)	試験日	合格発表日	入学手続き締切日
総合型選抜	Ⅰ期	10/ 3(月)～10/11(火)	10/16(日)	11/ 1(火)	11/15(火)
学校推薦型選抜	Ⅰ期	11/ 1(火)～11/10(木)	11/20(日)	12/ 1(木)	12/12(月)
総合型選抜	Ⅱ期				
学校推薦型選抜	Ⅱ期	12/12(月)～12/23(金)	1/ 8(日)	1/18(水)	2/ 1(水)
総合型選抜	Ⅲ期				
一般選抜	特待生	1/16(月)～ 1/31(火)	2/ 5(日)	2/16(木)	2/24(金)
一般選抜	Ⅰ期				
総合型選抜	Ⅳ期				
共通テスト利用選抜	Ⅰ期	1/16(月)～ 2/ 2(木)	—		
一般選抜	Ⅱ期	2/13(月)～ 2/24(金)	3/ 3(金)	3/ 8(水)	3/17(金)
共通テスト利用選抜	Ⅱ期	2/13(月)～ 2/28(火)	—		
総合型選抜	Ⅴ期	3/ 7(火)～ 3/13(月)	3/16(木)	3/20(月)	3/24(金)
共通テスト利用選抜	Ⅲ期	3/ 7(火)～ 3/14(火)	—		
社会人選抜 帰国生徒選抜 長期履修学生選抜	Ⅰ期	10/24(月)～11/10(木)	11/20(日)	12/ 1(木)	12/12(月)
	Ⅱ期	2/13(月)～ 2/24(金)	3/ 3(金)	3/ 8(水)	3/17(金)

試験地

試験区分		試験地
学校推薦型選抜	Ⅰ期	本学・都城・日向
	Ⅱ期	
一般選抜	特待生	本学・都城・日向
	Ⅰ期	
	Ⅱ期	本学
総合型選抜	Ⅰ期	本学
	Ⅱ期～Ⅴ期	本学・オンライン
共通テスト利用選抜	Ⅰ期～Ⅲ期	個別学力検査は行いません
社会人選抜・帰国生徒選抜・長期履修学生選抜	Ⅰ期・Ⅱ期	本学

【入試に関する問い合わせ・出願受付】

南九州短期大学 学生支援課 〒880-0032 宮崎県宮崎市霧島5丁目1番地2 0985-83-3406
土日祝及び本学所定の休日(12月28日～1月4日)を除く8:30～17:00

総合型選抜

【総合型選抜の趣旨】

総合型選抜入試は、個人の能力や適性、学習意欲などを総合的に判断し、可否を決定する入試制度です。

本学及び志望する学科のアドミッション・ポリシーと照らし合わせて、一人ひとりの能力や意欲を多面的、総合的に判定します。南九州短期大学で学びたいという明確な意思と目的意識を持った人を求めます。

なお、アドミッション・ポリシーについては、入試要項または本学ホームページで確認してください。

【エントリー～出願までの流れ】

Step.1 エントリーシートを郵送またはFAXにて、面談希望日の10日前までに提出してください。

エントリー 事前面談は対面（本学）、オンラインのいずれかで行います。

Step.2 エントリーシート到着後、日程調整を行い、連絡します。

事前面談日決定 オンラインの場合は事前面談に必要な書類を郵送します。

Step.3 エントリーシートをもとに面談します。時間は30分程度です。本学で学びたいという気持ちや質問したいこと等をじっくりお話してください。

Step.4 事前面談を受けた者のみ受験が可能です。入学試験要項に沿って必要書類を整え、出願してください。
出願 ※受験方法は総合型Ⅰ期は対面のみ。総合型Ⅱ期～Ⅴ期は対面またはオンラインから選択してください。

1. 特 典

(1) 総合型選抜Ⅰ期では、特待生を選考します。採用者は、入学金全額(200,000円)を免除します。

※特待生採用者数：若干名

2. 出願資格

学業・スポーツ・社会活動などの分野で高い評価や資質を得た者、または本学を選択した理由や、将来の夢や目標が明確である者で、事前面談を受け、(1)と(2)～(4)のいずれかの条件を満たす者

(1) 本学への入学が第一志望である者(専願)

(2) 高等学校の卒業生、または2023年3月卒業見込みの者

(3) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者、または2023年3月修了見込みの者

(4) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校卒業生と同等以上の学力があると認められる者

3. 選考方法

I 期	対 面	小論文・面接・書類審査(調査書と志望理由等)をあわせて総合的に判断します。
Ⅱ期 Ⅲ期 Ⅳ期 Ⅴ期	対 面 または オンライン	事前課題・口頭試問・面接および書類審査(調査書と志望理由等)をあわせて総合的に判断します。 ※受験方法は、対面もしくはオンラインの選択が出来ます。 ※事前課題はホームページに掲載します。(掲載期間：各期出願開始1週間前～出願期間終了日)

※多面的・総合的の評価方法について、詳細はホームページに掲載します。

4. 出願書類

(1) 入 学 願 書 本学所定の用紙

(2) 調 査 書 出身校にて作成し厳封されたもの

(3) 入 学 検 定 料 **26,000円** 郵便局で普通為替証書(受取人欄等には一切記入しないこと)に換えて出願書類に同封すること

(4) 受験票送付用封筒 本学所定のもの(住所・氏名明記、速達料相当切手<344円>貼付)

(5) 写 真 最近3か月以内に撮影した上半身正面無帽の写真(縦4cm×横3cm)2枚を入学願書および受験票に貼付すること

(6) 事前課題論文 本学所定の用紙。※Ⅱ期～Ⅴ期を受験する場合のみ提出

(7) オンライン誓約書 本学所定の用紙。※Ⅱ期～Ⅴ期でオンラインによる受験を選択する場合のみ提出

※(6)(7)については本学ホームページよりダウンロードしてください。

5. 出願期間（期間内必着のこと）

- I 期 2022年10月 3日(月) ～ 2022年10月11日(火)
II期 2022年11月 1日(火) ～ 2022年11月10日(木)
III期 2022年12月12日(月) ～ 2022年12月23日(金)
IV期 2023年 1月16日(月) ～ 2023年 1月31日(火)
V期 2023年 3月 7日(火) ～ 2023年 3月13日(月)

6. 試 験 日

- I 期 2022年10月16日(日)
II期 2022年11月20日(日)
III期 2023年 1月 8日(日)
IV期 2023年 2月 5日(日)
V期 2023年 3月16日(木)

7. 試 験 地 本学・オンライン ※P1で確認してください。

8. 試験科目・試験時間

I 期(対面のみ)	集合時間 午前 9時 ◆小論文 午前 9時30分～10時30分(60分・600字) ◆面接 午前10時45分～
II期～V期(対面または オンラインの選択制)	集合時間 午前 9時 ※オンラインを選択した場合は別途連絡 ◆口頭試問・面接 午前 9時30分～

9. 合格発表

- I 期 2022年11月 1日(火)
II期 2022年12月 1日(木)
III期 2023年 1月18日(水)
IV期 2023年 2月16日(木)
V期 2023年 3月20日(月)

- (1) 合否結果は、本人宛に郵送します。
(2) 電話による合否の問い合わせには一切応じません。

10. 入学手続き（入学手續締切日）

- I 期 2022年11月15日(火)
II期 2022年12月12日(月)
III期 2023年 2月 1日(水)
IV期 2023年 2月24日(金)
V期 2023年 3月24日(金)

詳細については、合格者に通知します。納入金については、P16を参照してください。

【総合型選抜に関するお問い合わせ及びエントリーシート提出先】

南九州短期大学 学生支援課(宮崎キャンパス)

〒880-0032 宮崎県宮崎市霧島5丁目1番地2 TEL 0985-83-3406 FAX 0985-83-3383
土日祝及び本学所定の休日(12月28日～1月4日)を除く8:30～17:00

学校推薦型選抜Ⅰ期（指定校）

1. 特 典

- (1) 特待生採用者は、入学金全額(200,000円)を免除します。
- (2) 特待生に採用されなかった場合でも、選考の上、成績が基準を満たしていれば合格とし、入学金半額(100,000円)を免除します。

※特待生採用者数 15人程度(指定校・公募合わせて)

2. 出願資格

出身高等学校長が特に推薦する者で、次の条件を満たす者

- (1) 本学への入学が第一志望である者(専願)
- (2) 2022年3月卒業者、または2023年3月卒業見込みの者
- (3) 学業成績が優れた者(原則として全体の評定平均値が3.5以上の者)、または学業以外(部活動・生徒会活動・各種検定等)において優れた成果を収めた者

- ### 3. 選考方法
- 小論文・面接および書類審査をあわせて総合的に判断します。
多目的・総合的評価方法について、詳細はホームページに掲載します。

4. 出願書類

(1) 入 学 願 書	本学所定の用紙
(2) 推 薦 書	本学所定の用紙
(3) 調 査 書	出身校にて作成し厳封されたもの
(4) 入 学 検 定 料	26,000円 郵便局で普通為替証書(受取人欄等には一切記入しないこと)に換えて出願書類に同封すること
(5) 受験票送付用封筒	本学所定のもの(住所・氏名明記、速達料相当切手<344円>貼付)
(6) 写 真	最近3か月以内に撮影した上半身正面無帽の写真(縦4cm×横3cm)2枚を入学願書および受験票に貼付すること

5. 出願期間（期間内必着のこと）

2022年11月 1日(火) ～ 2022年11月10日(木)

6. 試 験 日

2022年11月20日(日)

7. 試 験 地

本学・都城・日向

8. 試験科目・試験時間

集合時間 午前 9時

◆小論文 午前 9時30分～10時30分(60分・600字)

◆面 接 午前10時45分～

9. 合格発表

合格発表日 2022年12月 1日(木)

- (1) 可否結果は、本人宛に郵送します。
- (2) 電話による可否の問い合わせには一切応じません。

10. 入学手続き

入学手続締切日 2022年12月12日(月)

詳細については、合格者に通知します。納入金については、P16を参照してください。

学校推薦型選抜Ⅰ期（公募）

1. 特 典

特待生採用者は、入学金全額(200,000円)を免除します。

※特待生採用者数 15人程度(指定校・公募合わせて)

2. 出願資格

出身高等学校長が特に推薦する者で、次の条件を満たす者

- (1) 2022年3月卒業者、または2023年3月卒業見込みの者
- (2) 学業成績が優れた者(原則として全体の評定平均値が3.5以上の者)、または学業以外(部活動・生徒会活動・各種検定等)において優れた成果を収めた者

3. 選考方法

小論文・面接および書類審査をあわせて総合的に判断します。

多目的・総合的評価方法について、詳細はホームページに掲載します。

4. 出願書類

(1) 入 学 願 書	本学所定の用紙
(2) 推 薦 書	本学所定の用紙
(3) 調 査 書	出身校にて作成し厳封されたもの
(4) 入 学 検 定 料	26,000円 郵便局で普通為替証書(受取人欄等には一切記入しないこと)に換えて出願書類に同封すること
(5) 受験票送付用封筒	本学所定のもの(住所・氏名明記、速達料相当切手〈344円〉貼付)
(6) 写 真	最近3か月以内に撮影した上半身正面無帽の写真(縦4cm×横3cm)2枚を入学願書および受験票に貼付すること

5. 出願期間（期間内必着のこと）

2022年11月 1日(火) ～ 2022年11月10日(木)

6. 試 験 日

2022年11月20日(日)

7. 試 験 地

本学・都城・日向

8. 試験科目・試験時間

集合時間 午前 9時

◆小論文 午前 9時30分～10時30分(60分・600字)

◆面 接 午前10時45分～

9. 合格発表

合格発表日 2022年12月 1日(木)

- (1) 可否結果は、本人宛に郵送します。
- (2) 電話による可否の問い合わせには一切応じません。

10. 入学手続き

入学手続締切日 2022年12月12日(月)

詳細については、合格者に通知します。納入金については、P16を参照してください。

学校推薦型選抜Ⅱ期（指定校）

1. 出願資格

出身高等学校長が特に推薦する者で、次の条件を満たす者

- (1) 本学への入学が第一志望である者（専願）
- (2) 2022年3月卒業者、または2023年3月卒業見込みの者
- (3) 全体の評定平均値が3.2以上の者、または人物、資質等において特に評定平均値に代えて評価すべき者

- 2. 選考方法** 小論文・面接および書類審査をあわせて総合的に判断します。
多目的・総合的評価方法について、詳細はホームページに掲載します。

3. 出願書類

(1) 入 学 願 書	本学所定の用紙
(2) 推 薦 書	本学所定の用紙
(3) 調 査 書	出身校にて作成し厳封されたもの
(4) 入 学 検 定 料	26,000円 郵便局で普通為替証書（受取人欄等には一切記入しないこと）に換えて出願書類に同封すること
(5) 受験票送付用封筒	本学所定のもの（住所・氏名明記、速達料相当切手〈344円〉貼付）
(6) 写 真	最近3か月以内に撮影した上半身正面無帽の写真（縦4cm×横3cm）2枚を入学願書および受験票に貼付すること

4. 出願期間（期間内必着のこと）

2022年12月12日（月）～ 2022年12月23日（金）

- 5. 試 験 日** 2023年 1月 8日（日）

- 6. 試 験 地** 本学・都城・日向

7. 試験科目・試験時間

集合時間 午前 9時

◆小論文 午前 9時30分～10時30分（60分・600字）

◆面 接 午前10時45分～

8. 合格発表

合格発表日 2023年 1月18日（水）

- (1) 可否結果は、本人宛に郵送します。
- (2) 電話による可否の問い合わせには一切応じません。

9. 入学手続き

入学手続締切日 2023年 2月 1日（水）

詳細については、合格者に通知します。納入金については、P16を参照してください。

学校推薦型選抜Ⅱ期（公募）

1. 出願資格

出身高等学校長が特に推薦する者で、次の条件を満たす者

- (1) 2022年3月卒業者、または2023年3月卒業見込みの者
- (2) 全体の評定平均値が3.2以上の者、または人物、資質等において特に評定平均値に代えて評価すべき者

- 2. 選考方法** 小論文・面接および書類審査をあわせて総合的に判断します。
多目的・総合的評価方法について、詳細はホームページに掲載します。

3. 出願書類

(1) 入 学 願 書	本学所定の用紙
(2) 推 薦 書	本学所定の用紙
(3) 調 査 書	出身校にて作成し厳封されたもの
(4) 入 学 検 定 料	26,000円 郵便局で普通為替証書(受取人欄等には一切記入しないこと)に換えて出願書類に同封すること
(5) 受験票送付用封筒	本学所定のもの(住所・氏名明記、速達料相当切手〈344円〉貼付)
(6) 写 真	最近3か月以内に撮影した上半身正面無帽の写真(縦4cm×横3cm)2枚を入学願書および受験票に貼付すること

4. 出願期間（期間内必着のこと）

2022年12月12日(月)～2022年12月23日(金)

5. 試 験 日

2023年 1月 8日(日)

6. 試 験 地

本学・都城・日向

7. 試験科目・試験時間

集合時間 午前 9時

◆小論文 午前 9時30分～10時30分(60分・600字)

◆面 接 午前10時45分～

8. 合格発表

合格発表日 2023年 1月18日(水)

- (1) 可否結果は、本人宛に郵送します。
- (2) 電話による可否の問い合わせには一切応じません。

9. 入学手続き

入学手続締切日 2023年 2月 1日(水)

詳細については、合格者に通知します。納入金については、P16を参照してください。

一般選抜（特待生）

1. 特 典

- (1) 特待生を選考します。採用者は、入学金全額(200,000円)を免除します。
特待生採用者には、特待生決定通知書を送付します。
- (2) 特待生に採用されなかった場合でも、選考の上、成績が基準を満たしていれば合格とします。

2. 特待生採用人員 若干名

3. 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 高等学校の卒業者、または2023年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者、または2023年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校卒業者と同等以上の学力があると認められる者

4. 選考方法 学科試験2教科(科目)の成績と調査書等を総合的に判断し、可否を決定します。 多目的・総合的評価方法について、詳細はホームページに掲載します。

5. 出願書類

- | | |
|---------------|---|
| (1) 入 学 願 書 | 本学所定の用紙 |
| (2) 調 査 書 | 出身校にて作成し厳封されたもの。ただし、高等学校卒業程度認定試験および大学入学資格検定合格者は、合格成績証明書 |
| (3) 入 学 検 定 料 | 26,000円 郵便局で普通為替証書(受取人欄等には一切記入しないこと)に換えて出願書類に同封すること
※共通テスト利用との同時出願可。受験料の減額措置があるのでP16を参照すること。 |
| (4) 受験票送付用封筒 | 本学所定のもの(住所・氏名明記、速達料相当切手<344円>貼付) |
| (5) 写 真 | 最近3か月以内に撮影した上半身正面無帽の写真(縦4cm×横3cm)2枚を入学願書および受験票に貼付すること |

6. 出願期間（期間内必着のこと）

2023年 1月16日(月) ～ 2023年 1月31日(火)

7. 試 験 日 2023年 2月 5日(日)

8. 試 験 地 本学・都城・日向

9. 試験科目・試験時間 集合時間 午前9時

試 験 教 科(科目)	試験時間
国語(国語総合・国語表現)、英語(コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ)、数学(数学Ⅰ)から2教科(科目)を選択	9:30～11:30

◎配点は、1教科(科目)につき100点とする。 ◎教科(科目)の選択は、試験当日、試験室において行う。

◎国語は古文・漢文を除く。

◎全教科(科目)において、「思考力・判断力・表現力」を評価するために記述式問題を出題する。

10. 合格発表

合格発表日 2023年 2月16日(木)

- (1) 可否結果は、本人宛に郵送します。
- (2) 電話による可否の問い合わせには一切応じません。

11. 入学手続き

入学手続締切日 2023年 2月24日(金)

詳細については、合格者に通知します。納入金については、P16を参照してください。

一般選抜（Ⅰ期・Ⅱ期）

1. 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 高等学校の卒業生、または2023年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者、または2023年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校卒業生と同等以上の学力があると認められる者

2. 選考方法

学科試験1教科(科目)の成績と調査書等を総合的に判断し、可否を決定します。
多目的・総合的評価方法について、詳細はホームページに掲載します。

3. 出願書類

- | | |
|---------------|--|
| (1) 入 学 願 書 | 本学所定の用紙 |
| (2) 調 査 書 | 出身校にて作成し厳封されたもの。ただし、高等学校卒業程度認定試験および大学入学資格検定合格者は、合格成績証明書 |
| (3) 入 学 検 定 料 | 26,000円 郵便局で普通為替証書(受取人欄等には一切記入しないこと)に換えて出願書類に同封すること
※共通テスト利用選抜(Ⅰ期・Ⅱ期)との同時出願可。受験料の減額措置があるのでP16を参照すること。 |
| (4) 受験票送付用封筒 | 本学所定のもの(住所・氏名明記、速達料相当切手〈344円〉貼付) |
| (5) 写 真 | 最近3か月以内に撮影した上半身正面無帽の写真(縦4cm×横3cm)2枚を入学願書および受験票に貼付すること |

4. 出願期間（期間内必着のこと）

- Ⅰ期 2023年 1月16日(月) ～ 2023年 1月31日(火)
Ⅱ期 2023年 2月13日(月) ～ 2023年 2月24日(金)

5. 試 験 日

- Ⅰ期 2023年 2月 5日(日)
Ⅱ期 2023年 3月 3日(金)

6. 試 験 地

本学・都城・日向 ※P1で確認してください。

7. 試験科目・試験時間

集合時間 午前9時

試 験 教 科(科目)	試験時間
国語(国語総合・国語表現)、英語(コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ)、数学(数学Ⅰ)から1教科(科目)を選択	9:30～10:30

- ◎配点は、1教科(科目)につき100点とする。 ◎教科(科目)の選択は、試験当日、試験室において行う。
◎国語は古文・漢文を除く。
◎全教科(科目)において、「思考力・判断力・表現力」を評価するために記述式問題を出題する。

8. 合格発表

- 合格発表日 Ⅰ期 2023年 2月16日(木)
Ⅱ期 2023年 3月 8日(水)

- (1) 可否結果は、本人宛に郵送します。
- (2) 電話による可否の問い合わせには一切応じません。

9. 入学手続き

- 入学手続締切日 Ⅰ期 2023年 2月24日(金)
Ⅱ期 2023年 3月17日(金)

詳細については、合格者に通知します。納入金については、P16を参照してください。

共通テスト利用選抜（Ⅰ期・Ⅱ期・Ⅲ期）

1. 出願資格

2023年度大学入学共通テストで、本学が指定した教科・科目を受験した者で、次のいずれかの条件を満たす者

- (1) 高等学校の卒業者、または2023年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者、または2023年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校卒業者と同等以上の学力があると認められる者

2. 選考方法

大学入学共通テスト2教科(科目)の成績と調査書等を総合的に判断し、可否を決定します。
多目的・総合的評価方法について、詳細はホームページに掲載します。

3. 出願書類

- | | |
|---------------|---|
| (1) 入 学 願 書 | 本学所定の用紙 |
| (2) 調 査 書 | 出身校にて作成し厳封されたもの。ただし、高等学校卒業程度認定試験および大学入学資格検定合格者は、合格成績証明書 |
| (3) 入 学 検 定 料 | 10,000円 郵便局で普通為替証書(受取人欄等には一切記入しないこと)に換えて出願書類に同封すること
※一般選抜(Ⅰ期・Ⅱ期)との同時出願可。受験料の減額措置があるのでP16を参照すること。 |
| (4) 受験票送付用封筒 | 本学所定のもの(住所・氏名明記、速達料相当切手<344円>貼付) |
| (5) 写 真 | 最近3か月以内に撮影した上半身正面無帽の写真(縦4cm×横3cm)1枚を入学願書に貼付すること |

4. 出願期間（期間内必着のこと）

- Ⅰ期 2023年 1月16日(月) ～ 2023年 2月 2日(木)
Ⅱ期 2023年 2月13日(月) ～ 2023年 2月28日(火)
Ⅲ期 2023年 3月 7日(火) ～ 2023年 3月14日(火)

5. 試験科目・試験時間

試 験 教 科(科目)	試 験 時 間
国語、外国語(英語)、数学(数学Ⅰ、数学Ⅰ・数学A、簿記・会計)、 地歴・公民(世A、世B、日A、日B、地A・地B、現社、倫理、政経、倫理・政経) から2教科(科目)	指定教科(科目)以上受験 した場合は、高得点の教科 (科目)を可否判定に使用

◎配点は、1教科(科目)につき100点とする。

6. 合格発表

- 合格発表日 Ⅰ期 2023年 2月16日(木)
Ⅱ期 2023年 3月 8日(水)
Ⅲ期 2023年 3月20日(月)

- (1) 可否結果は、本人宛に郵送します。
- (2) 電話による可否の問い合わせには一切応じません。

7. 入学手続き

- 入学手続締切日 Ⅰ期 2023年 2月24日(金)
Ⅱ期 2023年 3月17日(金)
Ⅲ期 2023年 3月24日(金)

詳細については、合格者に通知します。納入金については、P16を参照してください。

●共通テスト利用選抜特待生制度

- (1) 共通テスト利用選抜合格者で、120点以上(60%)の成績を取得した者について、入学金全額(200,000円)を免除します。
- (2) 共通テスト利用選抜合格者で、170点(85%)以上の成績を取得した者について、授業料の全額(864,000円)を免除します。(2年次については、条件を満たした場合継続します。)

※(1)と(2)は併用できません。

社会人選抜（Ⅰ期・Ⅱ期）

1. 特 典

入学金全額(200,000円)を免除します。

2. 出願資格

2023年3月31日までに満20歳に達する者で、次のいずれかに該当する者

- (1) 高等学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校卒業者と同等以上の学力があると認められる者

3. 選考方法

小論文および面接をあわせて総合的に判断します。

4. 出願書類

- | | |
|---------------|--|
| (1) 入 学 願 書 | 本学所定の用紙 |
| (2) 履 歴 書 | 本学所定の用紙 |
| (3) 卒 業 証 明 書 | 出身校にて作成し厳封されたもの
(高等学校卒業程度認定試験および大学入学資格検定合格者は合格成績証明書) |
| (4) 入 学 検 定 料 | 26,000円 郵便局で普通為替証書(受取人欄等には一切記入しないこと)に
換えて出願書類に同封すること(窓口持参については、現金でも可。ただし、土
日祝および本学所定の休日を除く。) |
| (5) 受験票送付用封筒 | 本学所定のもの(住所・氏名明記、速達料相当切手<344円>貼付) |
| (6) 写 真 | 最近3か月以内に撮影した上半身正面無帽の写真(縦4cm×横3cm)2枚を入学
願書および受験票に貼付すること |

5. 出願期間（期間内必着のこと）

Ⅰ期 2022年10月24日(月)～2022年11月10日(木)

Ⅱ期 2023年 2月13日(月)～2023年 2月24日(金)

6. 試 験 日

Ⅰ期 2022年11月20日(日)

Ⅱ期 2023年 3月 3日(金)

7. 試 験 地

本 学

8. 試験科目・試験時間

集合時間 午前 9時

◆小論文 午前 9時30分～10時30分(60分・600字)

◆面 接 午前10時45分～

9. 合格発表

合格発表日 Ⅰ期 2022年12月 1日(木)

Ⅱ期 2023年 3月 8日(水)

- (1) 可否結果は、本人宛に郵送します。
- (2) 電話による可否の問い合わせには一切応じません。

10. 入学手続き

入学手続締切日 Ⅰ期 2022年12月12日(月)

Ⅱ期 2023年 3月17日(金)

詳細については、合格者に通知します。納入金については、P16を参照してください。

帰国生徒選抜（Ⅰ期・Ⅱ期）

1. 出願資格

日本国籍を有し、海外在留が継続して1年以上の帰国生徒で、次のいずれかに該当する者

- (1) 帰国後2年以内に日本の高等学校を卒業、または2023年3月卒業見込みの者
- (2) 外国において、日本の12年の学校教育に相当する教育課程を修了した者および修了見込みの者で帰国後2年以内の者

※出願資格については事前にお問い合わせください。

- ## 2. 選考方法
- 小論文・面接および書類審査を合わせて総合的に判断します。
多目的・総合的評価方法について、詳細はホームページに掲載します。

3. 出願書類

- | | |
|---------------|--|
| (1) 入 学 願 書 | 本学所定の用紙 |
| (2) 履 歴 書 | 本学所定の用紙 |
| (3) 調 査 書 | 出身校にて作成し厳封されたもの
ただし、外国の学校を卒業した者および卒業見込みの者は、卒業証明書または卒業見込証明書と成績証明書を提出すること（原本と日本語訳文） |
| (4) 入 学 検 定 料 | 26,000円 郵便局で普通為替証書（受取人欄等には一切記入しないこと）に換えて出願書類に同封すること
（窓口持参については、現金でも可。ただし、土日祝および本学所定の休日を除く。） |
| (5) 受験票送付用封筒 | 本学所定のもの（住所・氏名明記、速達料相当切手〈344円〉貼付） |
| (6) 写 真 | 最近3か月以内に撮影した上半身正面無帽の写真（縦4cm×横3cm）2枚を入学願書および受験票に貼付すること |

4. 出願期間（期間内必着のこと）

- Ⅰ期 2022年10月24日（月）～ 2022年11月10日（木）
Ⅱ期 2023年 2月13日（月）～ 2023年 2月24日（金）

5. 試 験 日

- Ⅰ期 2022年11月20日（日）
Ⅱ期 2023年 3月 3日（金）

6. 試 験 地 本 学

7. 試験科目・試験時間

- 集合時間 午前 9時
◆小論文 午前 9時30分～10時30分（60分・600字）
◆面 接 午前10時45分～

8. 合格発表

- 合格発表日 Ⅰ期 2022年12月 1日（木）
Ⅱ期 2023年 3月 8日（水）
(1) 可否結果は、本人宛に郵送します。
(2) 電話による可否の問い合わせには一切応じません。

9. 入学手続き

- 入学手續締切日 Ⅰ期 2022年12月12日（月）
Ⅱ期 2023年 3月17日（金）

詳細については、合格者に通知します。納入金については、P16を参照してください。

長期履修学生選抜（Ⅰ期・Ⅱ期）

1. 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 高等学校を卒業した者、または2023年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者、または2023年3月卒業見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校卒業者と同等以上の学力があると認められる者

2. 履修期間 3年～6年間

3. 選考方法 小論文・面接および書類審査を合わせて総合的に判断します。 多目的・総合的評価方法について、詳細はホームページに掲載します。

4. 出願書類

- | | |
|---------------|--|
| (1) 入 学 願 書 | 本学所定の用紙 |
| (2) 履 歴 書 | 本学所定の用紙 |
| (3) 卒 業 証 明 書 | 出身校にて作成し厳封されたもの
(高等学校卒業程度認定試験および大学入学資格検定合格者は合格成績証明書) |
| (4) 入 学 検 定 料 | 26,000円 郵便局で普通為替証書(受取人欄等には一切記入しないこと)に
換えて出願書類に同封すること(窓口持参については、現金でも可。ただし、土
日祝および本学所定の休日を除く。) |
| (5) 受験票送付用封筒 | 本学所定のもの(住所・氏名明記、速達料相当切手<344円>貼付) |
| (6) 写 真 | 最近3か月以内に撮影した上半身正面無帽の写真(縦4cm×横3cm)2枚を入学
願書および受験票に貼付すること |

5. 出願期間（期間内必着のこと）

- Ⅰ期 2022年10月24日(月)～2022年11月10日(木)
Ⅱ期 2023年 2月13日(月)～2023年 2月24日(金)

6. 試験日

- Ⅰ期 2022年11月20日(日)
Ⅱ期 2023年 3月 3日(金)

7. 試験地 本 学

8. 試験科目・試験時間

- 集合時間 午前 9時
◆小論文 午前 9時30分～10時30分(60分・600字)
◆面 接 午前10時45分～

9. 合格発表

- 合格発表日 Ⅰ期 2022年12月 1日(木)
Ⅱ期 2023年 3月 8日(水)
(1) 可否結果は、本人宛に郵送します。
(2) 電話による可否の問い合わせには一切応じません。

10. 入学手続き

- 入学手続締切日 Ⅰ期 2022年12月12日(月)
Ⅱ期 2023年 3月17日(金)
詳細については、合格者に通知します。納入金については、P16を参照してください。

入試配点表

国際教養学科

	小論文※	面接	教科(科目)	書類審査
総合型選抜	10	50	—	40
学校推薦型選抜	30	30	—	40
一般選抜(特待生)	—	—	200	10
一般選抜	—	—	100	10
共通テスト利用選抜	—	—	200	10
社会人選抜	50	50	—	—
帰国生徒選抜・長期履修学生選抜	10	50	—	40

※総合型選抜(Ⅱ～Ⅴ期)においてオンラインを選択した場合は『事前課題論文＋口頭試問』

受験上及び修学上の配慮や支援が必要な入学志願者の事前相談について

本学に入学を志願する者で、身体に障害等(視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、病弱、発達障害、その他)があり、受験上及び修学上の配慮や支援が必要な場合は、以下により相談してください。

なお、相談の時期、内容によっては、本学の受験や入学後に、希望される配慮や支援が講じられない場合がありますので、可能な限り早めに相談してください。

また、期限後に本学を志願することになった場合及び不慮の事故等により身体に障害を有することとなった場合は、その時点で速やかに相談してください。

1 相談の方法

相談書(様式任意)に加え、医師の診断書及び身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳等を有する者は、その写しを添えて提出してください。必要な場合には、本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行います。

- (1) 入学志願者氏名、フリガナ、性別、住所、電話番号(平日の8:30～17:00に連絡のとれる電話番号)
- (2) 志望コース、入試区分(日程)
- (3) 障害の種類、程度
- (4) 受験上の配慮を希望する事項
- (5) 修学上の配慮を希望する事項
- (6) 在学(出身)学校でとられていた配慮
- (7) 日常生活の状況

2 相談書の提出期限

- 総合型選抜……………エントリーシート提出前まで
- その他の入試……………それぞれの出願開始一ヶ月前まで

3 相談書の提出先

〒880-0032 宮崎県宮崎市霧島5丁目1番地2 南九州短期大学 学生支援課

新型コロナウイルス関連

今後の新型コロナウイルス感染状況によっては、入試要項に記載されている選抜方法とは異なった方法で選抜を実施する可能性があります。変更した場合は、ホームページで周知しますので、出願の際は必ず確認してください。

● 共通テスト利用選抜特待生制度

- (1) 共通テスト利用選抜合格者で、120点以上(60%)の成績を取得した者について、入学金全額(200,000円)を免除します。
- (2) 共通テスト利用選抜合格者で、170点(85%)以上の成績を取得した者について、授業料の全額(864,000円)を免除します。(2年次については、条件を満たした場合継続します。)

＜2年次の継続条件＞

4月1日現在で選考し、①及び②を満たすこと

①修得単位(卒業要件単位)が40単位以上

※グローバル・コミュニケーションコースについては前期及び留学先の秋学期単位で換算して30単位以上とする。

②成績が学科の上位10%以内

※(1)と(2)は併用できません。

● 指定校入学金半額免除制度

指定校から学校推薦型選抜Ⅰ期を受験した場合、特待生に採用されなくても、合格者全員入学金半額(100,000円)を免除します。

● 沖縄県および鹿児島県諸島入学金全額免除制度

沖縄県および鹿児島県諸島の指定校から学校推薦型選抜Ⅰ期を受験した場合、特待生に採用されなくても、合格者全員入学金全額(200,000円)を免除します。

● 南九州学園入学金全額免除制度

次のいずれかに該当する者は、入学金全額(200,000円)を免除します。該当者は入学手続き時に申請してください。

- (1) 本学または南九州大学のいずれかに入学したことがある者
- (2) 親および兄弟姉妹が、本学または南九州大学のいずれかに入学したことがある者
- (3) 入学予定年度に複数の兄弟姉妹が同時に本学または南九州大学のいずれかに入学するときは、これらの者のうち後順位の者

● 社会人選抜入学金全額免除制度

社会人選抜の合格者は全員入学金全額(200,000円)を免除します。

● 資格スカラシップ制度(全入試に適用)

下記資格を取得した者で、評定平均値が3.5以上の入学試験合格者は入学金全額200,000円を免除します。本学所定の用紙による申請が必要となります。詳細は巻末の資格スカラシップ制度申請書を確認してください。

- ・全商検定1級三種目以上の合格者
- ・農業技術検定3級以上の合格者
- ・全国家庭科技術検定1級二種目以上の合格者
- ・ジュニアマイスター(ゴールドまたはシルバー)称号授与資格者
- ・食品技能検定(1類、2類、3類、HACCPの内2つ以上)の合格者
- ・ITパスポート試験の合格者
- ・実用英語技能検定2級以上の合格者
- ・日本漢字能力検定2級以上の合格者
- ・秘書検定(実務技能検定協会)2級以上の合格者
- ・日商簿記検定2級以上の合格者

留学支援奨学制度について

単位認定留学の参加学生に対し、留学中の学納金のうち3カ月プログラム100,000円、6カ月プログラム200,000円を免除します。

入学検定料の減額について

複数の試験区分を同時に出席する場合、入学検定料については次のように減額します。

※出願書類は出願用封筒にすべてまとめて提出してください。なお、入学願書(写真貼付)・調査書等はそれぞれ試験区分ごとに必要ですが、受験票送付用封筒は1枚だけ同封してください。

- (1) 一般選抜(特待生)または一般選抜(I期)・共通テスト利用選抜(I期)…………… 31,000円
- (2) 一般選抜(II期)・共通テスト利用選抜(II期)…………… 31,000円

学校法人南九州学園災害等罹災者学納金減免制度について

本学では「災害対策基本法」に定める災害の罹災及びそれに準ずる事態等を原因とする経済的困窮により、学納金の支払いが著しく困難であると認められる入学希望者に対して、「入学検定料」及び「学納金」を免除する制度があります。対象となる災害救助法適用地域は、本学ホームページで確認してください。手続きに関する詳細は、学生支援課までお問い合わせ下さい。

納入金について

◎入学手続き時には、次の1.学納金(第1回)と2.委託徴収金を合わせた額を納入してください。

1. 学納金

(単位:円)

年 度	初 年 度		2 年 次
納入法	納 入 額		年 間 計
内 訳	第 1 回	第 2 回	年 間 計
入 学 金	200,000		200,000
授 業 料	432,000	432,000	864,000
合 計	632,000	432,000	1,064,000
納 入 期	入学手続き時	10月1日	

◎授業料には、施設設備費が含まれています。

◎長期履修学生の授業料(年間)は、2年間の総額を履修年で割った金額とします。

◎在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

2. 委託徴収金

内 訳	金 額
保護者会費	12,000円
学生会費	15,000円
同窓会会費	10,000円
生協加入金	10,000円

◎保護者会費・学生会費については、2年次も納入してください。

◎保護者会費中には、学生教育研究災害傷害保険料が含まれています。

◎同窓会会費は終身会費です。

◎生協加入金は、卒業時に返還します。

◎同窓会については下記アドレスにお問い合わせください。

E-mail: nantandoso@yahoo.co.jp

入学辞退について

入学手続き完了者が入学辞退をする場合は、**2023年3月31日(金)**までに入学辞退届を提出してください。納入金のうち、入学金を除いた額を返還いたします。

手続き方法につきましては、学生支援課へお問い合わせください。

お問い合わせ

南九州短期大学 学生支援課 TEL 0985-83-3406
土日祝及び本学所定の休日(12月28日～1月4日)を除く8:30～17:00

試験場案内

本 学

南九州短期大学



〒880-0032
宮崎県宮崎市霧島5丁目1番地2
TEL 0985-83-2100(代)

交通案内

- ◎JR宮崎神宮駅から徒歩20分
- ◎宮崎交通バス 霧島4丁目から徒歩1分

都 城

南九州大学 都城キャンパス



〒885-0035
宮崎県都城市立野町3764-1
TEL 0986-21-2111(代)

交通案内

- ◎宮崎交通バス 大学前から徒歩1分

日 向

日向第一ホテル



〒883-0045
宮崎県日向市本町11-5
TEL 0982-52-8151

交通案内

- ◎JR日向駅から徒歩7分

入学願書記入上の注意事項について

1. 入学願書は、試験区分ごとに異なります。所定の用紙を使用してください。
2. 入学願書は、必ず自筆ではっきりとていねいに記入してください。
3. 各票の記入にあたっては、黒のインクまたはボールペンを使用してください。
4. 漢字は楷書、数字はすべて算用数字(1. 2. 3. ……)を使用してください。
5. 受験票は、切り離さないで提出してください。
6. 一度提出した出願書類並びに入学検定料は、いかなる理由があっても返還しません。
7. 入学願書提出後の試験地等の変更は認めません。

入学願書記入について

1. 入 試 種 別 志願する入試種別の欄に○印を記入すること。
2. 試 験 地 希望する試験地の欄に○印を記入すること。
3. 氏 名 戸籍簿の氏名を記入すること。フリガナはカタカナで記入すること。
4. 性 別 該当する欄に○印を記入すること。
5. 生 年 月 日 西暦で記入すること。
6. 通 知 先 住 所 自宅住所を記入すること。
7. 連絡先電話番号 平日の8:30～17:00に連絡のとれる電話番号を記入すること。
8. 出 身 高 等 学 校 所在地の都道府県名、高等学校名を記入し、設置種類の欄に○印を記入すること。なお、コードについては、P23～25の高等学校コード表を参照の上、出身高校のコード番号を記入すること。(九州・沖縄地区以外の場合、コード番号の記入不要)
9. 出 身 課 程 該当する欄に○印を記入すること。
10. 出 身 学 科 該当する欄に○印を記入すること。
普 通＝普通科
理 数＝理数科
農 業＝園芸科、造園科、食品化学科、農業経済科などの農業に関する学科
工 業＝工業科、電気科、機械科、土木科などの工業に関する学科
商 業＝商業科、経理科、会計科などの商業に関する学科
総 合＝総合学科
その他＝英語科、体育科、食物科、被服科など
11. 卒 業 年 該当する欄に○印または卒業年月を記入すること。
12. 災 害 等 罹 災 者 学納金減免制度 該当者は○印を記入すること。また、罹災証明書を添付すること。
13. 大学入学共通テスト 成績請求票 共通テスト利用選抜を志願する者は、大学入試センター発行の成績請求票(私立短期大学用)をこの枠内に全面貼付すること。

個人情報の取り扱いについて

入学願書に基づいて登録された個人情報(住所・氏名・電話番号等出願書類記載事項)は、「南九州学園個人情報の保護に関する規程」に基づき、次の事項について利用します。

1. 入学試験実施 (1) 受験票送付
(2) 受付票
2. 合 格 発 表 (1) 可否通知(推薦入試の受験者は、出身校への通知を含む。)送付
(2) 入学手続書類送付(大学生協・同窓会案内を含む。)
3. 個人を特定しない各種統計資料作成

入学願書記入例

総合型選抜Ⅰ期

令和5年度 南九州短期大学 総合型選抜Ⅰ期 入学願書			
受験番号 (記入しない)		試験地 本学	
学科名 国際教養学科		写真貼付 1. 上半身正面無帽 2. 最近3か月以内撮影のもの 3. サイズ4.0×3.0cm (入学願書と同じ)	
氏名 フリガナ ミナミ タロウ 漢字 南 太郎	性別 (○印をつける) <input checked="" type="radio"/> 男 <input type="radio"/> 女	切り離さないこと	
生年月日 (西暦) 2004 年 6 月 14 日			
通知先住所 (自宅) 〒880-0032 宮崎 都道府県 宮崎市霧島5丁目1番地2			
連絡先電話番号 (0985) 83 - 3435			
出身高等学校 所在地 宮崎 都道府県 設置 (○印をつける) 国立 都道府県立 市町村立 <input checked="" type="radio"/> 私立 高校名 宮崎 高等学校 コード 4 5 9 9 C	出身課程 (○印をつける) <input checked="" type="radio"/> 全日制 <input type="radio"/> 定時制 <input type="radio"/> 通信制 <input type="radio"/> 高卒認定 <input type="radio"/> その他	出身学科 (○印をつける) <input checked="" type="radio"/> 普通 理数 農業 工業 商業 総合 その他	卒業年月 (西暦) 卒業 2023年3月 卒業見込み 災害等罹災者 学納金減免制度 (該当する者は○印をつける) ※裏面記入

南九州短期大学受験票

総合型選抜	Ⅰ期
受験番号 (記入しない)	
氏名 フリガナ ミナミ タロウ 漢字 南 太郎	
学科	国際教養学科
試験地	本学

写真貼付

1. 上半身正面無帽
2. 最近3か月以内撮影のもの
3. サイズ4.0×3.0cm
(入学願書と同じ)

※裏面を確認すること。

領収印

本票にて、入学検定料領収証とする。

総合型選抜(Ⅱ期・Ⅲ期・Ⅳ期・Ⅴ期)

令和5年度 南九州短期大学 総合型選抜 Ⅱ期 Ⅲ期 Ⅳ期 Ⅴ期 入学願書			
受験番号 (記入しない)		試験地 <input checked="" type="radio"/> 本学 <input type="radio"/> オンライン	
学科名 国際教養学科		写真貼付 1. 上半身正面無帽 2. 最近3か月以内撮影のもの 3. サイズ4.0×3.0cm (入学願書と同じ)	
氏名 フリガナ ミナミ タロウ 漢字 南 太郎	性別 (○印をつける) <input checked="" type="radio"/> 男 <input type="radio"/> 女	切り離さないこと	
生年月日 (西暦) 2004 年 6 月 14 日			
通知先住所 (自宅) 〒880-0032 宮崎 都道府県 宮崎市霧島5丁目1番地2			
連絡先電話番号 (0985) 83 - 3435			
出身高等学校 所在地 宮崎 都道府県 設置 (○印をつける) 国立 都道府県立 市町村立 <input checked="" type="radio"/> 私立 高校名 宮崎 高等学校 コード 4 5 9 9 C	出身課程 (○印をつける) <input checked="" type="radio"/> 全日制 <input type="radio"/> 定時制 <input type="radio"/> 通信制 <input type="radio"/> 高卒認定 <input type="radio"/> その他	出身学科 (○印をつける) <input checked="" type="radio"/> 普通 理数 農業 工業 商業 総合 その他	卒業年月 (西暦) 卒業 2023年3月 卒業見込み 災害等罹災者 学納金減免制度 (該当する者は○印をつける) ※裏面記入

南九州短期大学受験票

総合型選抜	<input checked="" type="radio"/> Ⅱ期 <input type="radio"/> Ⅲ期 <input type="radio"/> Ⅳ期 <input type="radio"/> Ⅴ期
受験番号 (記入しない)	
氏名 フリガナ ミナミ タロウ 漢字 南 太郎	
学科	国際教養学科
試験地	本学 ※出願案内に記載された試験地を記入すること

写真貼付

1. 上半身正面無帽
2. 最近3か月以内撮影のもの
3. サイズ4.0×3.0cm
(入学願書と同じ)

※裏面を確認すること。

領収印

本票にて、入学検定料領収証とする。

学校推薦型選抜(Ⅰ期・Ⅱ期)(指定校)

令和5年度 南九州短期大学 学校推薦型選抜 <input checked="" type="radio"/> Ⅰ期 <input type="radio"/> Ⅱ期 入学願書		南九州短期大学受験票	
		指定校	
受験番号 (記入しない)		学校推薦型選抜 <input checked="" type="radio"/> Ⅰ期 <input type="radio"/> Ⅱ期	
学科名 国際教養学科		受験番号 (記入しない)	
氏名 フリガナ ミナミ タロウ 漢字 南 太郎		氏 フリガナ ミナミ タロウ 漢字 南 太郎	
生年月日 (西暦) 2004 年 6 月 14 日		試験地 本学	
試験地 <input checked="" type="radio"/> 本学 <input type="radio"/> 都 <input type="radio"/> 城 <input type="radio"/> 日 <input type="radio"/> 向		写真貼付 1.上半身正面無帽 2.最近3か月以内撮影のもの 3.サイズ4.0×3.0cm (入学願書と同じ)	
性別 <input checked="" type="radio"/> 男 <input type="radio"/> 女		写真貼付 1.上半身正面無帽 2.最近3か月以内撮影のもの 3.サイズ4.0×3.0cm (入学願書と同じ)	
通知先住所 (自宅) 〒880-0032 宮崎 都道府県 宮崎市霧島5丁目1番地2		※裏面を確認すること。	
連絡先電話番号 (0985) 83 - 3435		領収印	
出身高等学校 所在地 宮崎 都道府県 設置 (○印をつける) 国立 都道府県立 市町村立 <input checked="" type="radio"/> 私立 高校名 宮崎 高等学校 コード 4 5 9 9 9 C		卒業年 (○印をつける) <input checked="" type="radio"/> 2023 <input type="radio"/> 2022	
出身課程 (○印をつける) <input checked="" type="radio"/> 全日制 <input type="radio"/> 定時制 <input type="radio"/> 通信制		災害等罹災者 学納金減免制度 (該当する者は○印をつける)	
出身学科 (○印をつける) <input checked="" type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 理数 <input type="radio"/> 農業 <input type="radio"/> 工業 <input type="radio"/> 商業 <input type="radio"/> 総合 <input type="radio"/> その他		※裏面記入	

学校推薦型選抜(Ⅰ期・Ⅱ期)(公募)

令和5年度 南九州短期大学 学校推薦型選抜 <input checked="" type="radio"/> Ⅰ期 <input type="radio"/> Ⅱ期 入学願書		南九州短期大学受験票	
		公募	
受験番号 (記入しない)		学校推薦型選抜 <input checked="" type="radio"/> Ⅰ期 <input type="radio"/> Ⅱ期	
学科名 国際教養学科		受験番号 (記入しない)	
氏名 フリガナ ミナミ タロウ 漢字 南 太郎		氏 フリガナ ミナミ タロウ 漢字 南 太郎	
生年月日 (西暦) 2004 年 6 月 14 日		試験地 本学	
試験地 <input checked="" type="radio"/> 本学 <input type="radio"/> 都 <input type="radio"/> 城 <input type="radio"/> 日 <input type="radio"/> 向		写真貼付 1.上半身正面無帽 2.最近3か月以内撮影のもの 3.サイズ4.0×3.0cm (入学願書と同じ)	
性別 <input checked="" type="radio"/> 男 <input type="radio"/> 女		写真貼付 1.上半身正面無帽 2.最近3か月以内撮影のもの 3.サイズ4.0×3.0cm (入学願書と同じ)	
通知先住所 (自宅) 〒880-0032 宮崎 都道府県 宮崎市霧島5丁目1番地2		※裏面を確認すること。	
連絡先電話番号 (0985) 83 - 3435		領収印	
出身高等学校 所在地 宮崎 都道府県 設置 (○印をつける) 国立 都道府県立 市町村立 <input checked="" type="radio"/> 私立 高校名 宮崎 高等学校 コード 4 5 9 9 9 C		卒業年 (○印をつける) <input checked="" type="radio"/> 2023 <input type="radio"/> 2022	
出身課程 (○印をつける) <input checked="" type="radio"/> 全日制 <input type="radio"/> 定時制 <input type="radio"/> 通信制		災害等罹災者 学納金減免制度 (該当する者は○印をつける)	
出身学科 (○印をつける) <input checked="" type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 理数 <input type="radio"/> 農業 <input type="radio"/> 工業 <input type="radio"/> 商業 <input type="radio"/> 総合 <input type="radio"/> その他		※裏面記入	

一般選抜(特待生・Ⅰ期・Ⅱ期)

令和5年度 南九州短期大学 一般選抜		<input checked="" type="radio"/> 特待生 <input type="radio"/> Ⅰ期 <input type="radio"/> Ⅱ期		入学願書
受験番号 (記入しない)		試験地 (○印をつける)		写真貼付 1. 上半身正面無帽 2. 最近3か月以内撮影のもの 3. 寸(4.0×3.0cm) (入学願書と同じ)
学科名 国際教養学科		<input checked="" type="radio"/> 本学 <input type="radio"/> 都府県立 <input type="radio"/> 市町村立 <input type="radio"/> 私立 <input type="radio"/> その他		
氏名 フリガナ ミナミ タロウ 漢字 南 太郎		性別 (○印をつける) <input checked="" type="radio"/> 男 <input type="radio"/> 女		
生年月日 (西暦) 2004 年 6 月 14 日				
通知先住所 (自宅)		〒880-0032 宮崎 都道府県(○) 宮崎市霧島5丁目1番地2		
連絡先電話番号 (0985) 83 - 3435				
出身高等学校 所在地 宮崎 都道府県(○) 設置 (○印をつける) 国立 都道府県立 市町村立 <input checked="" type="radio"/> 私立 高校名 宮崎 高等学校 コード 45999C		出身課程 (○印をつける) <input checked="" type="radio"/> 全日制 <input type="radio"/> 定時制 <input type="radio"/> 通信制 <input type="radio"/> 高卒認定 <input type="radio"/> その他		出身学科 (○印をつける) <input checked="" type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 理数 <input type="radio"/> 農業 <input type="radio"/> 工業 <input type="radio"/> 商業 <input type="radio"/> 総合 <input type="radio"/> その他
		卒業年 (○印をつける) <input checked="" type="radio"/> 2023 <input type="radio"/> 2022 <input type="radio"/> 2021 <input type="radio"/> 2020 <input type="radio"/> 2019以前 <input type="radio"/> 高卒認定		災害等罹災者 学納金減免制度 (該当する者は ○印をつける)
※裏面記入				

切り離さないこと

南九州短期大学受験票	
一般選抜	<input checked="" type="radio"/> 特待生 <input type="radio"/> Ⅰ期 <input type="radio"/> Ⅱ期
受験番号 (記入しない)	
氏名 フリガナ ミナミ タロウ 漢字 南 太郎	
学科	国際教養学科
試験地	本学
写真貼付 1. 上半身正面無帽 2. 最近3か月以内撮影のもの 3. 寸(4.0×3.0cm) (入学願書と同じ)	
領収印	
※裏面を確認すること。	

本票にて、入学検定料領収証とする。

共通テスト利用選抜(Ⅰ期・Ⅱ期・Ⅲ期)

令和5年度 南九州短期大学 共通テスト利用選抜		<input checked="" type="radio"/> Ⅰ期 <input type="radio"/> Ⅱ期 <input type="radio"/> Ⅲ期		入学願書
受験番号 (記入しない)		試験地 (○印をつける)		写真貼付 1. 上半身正面無帽 2. 最近3か月以内撮影のもの 3. 寸(4.0×3.0cm) (入学願書と同じ)
学科名 国際教養学科		<input checked="" type="radio"/> 本学 <input type="radio"/> 都府県立 <input type="radio"/> 市町村立 <input type="radio"/> 私立 <input type="radio"/> その他		
氏名 フリガナ ミナミ タロウ 漢字 南 太郎		性別 (○印をつける) <input checked="" type="radio"/> 男 <input type="radio"/> 女		
生年月日 (西暦) 2004 年 6 月 14 日				
通知先住所 (自宅)		〒880-0032 宮崎 都道府県(○) 宮崎市霧島5丁目1番地2		
連絡先電話番号 (0985) 83 - 3435				
出身高等学校 所在地 宮崎 都道府県(○) 設置 (○印をつける) 国立 都道府県立 市町村立 <input checked="" type="radio"/> 私立 高校名 宮崎 高等学校 コード 45999C		出身課程 (○印をつける) <input checked="" type="radio"/> 全日制 <input type="radio"/> 定時制 <input type="radio"/> 通信制 <input type="radio"/> 高卒認定 <input type="radio"/> その他		出身学科 (○印をつける) <input checked="" type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 理数 <input type="radio"/> 農業 <input type="radio"/> 工業 <input type="radio"/> 商業 <input type="radio"/> 総合 <input type="radio"/> その他
		卒業年 (○印をつける) <input checked="" type="radio"/> 2023 <input type="radio"/> 2022 <input type="radio"/> 2021 <input type="radio"/> 2020 <input type="radio"/> 2019以前 <input type="radio"/> 高卒認定		災害等罹災者 学納金減免制度 (該当する者は ○印をつける)
※裏面記入				

切り離さないこと

南九州短期大学受験票	
共通テスト利用選抜	<input checked="" type="radio"/> Ⅰ期 <input type="radio"/> Ⅱ期 <input type="radio"/> Ⅲ期
受験番号 (記入しない)	
氏名 フリガナ ミナミ タロウ 漢字 南 太郎	
学科	国際教養学科
試験地	本学
写真貼付 1. 上半身正面無帽 2. 最近3か月以内撮影のもの 3. 寸(4.0×3.0cm) (入学願書と同じ)	
領収印	
※裏面を確認すること。	

本票にて、入学検定料領収証とする。

社会人・帰国生徒・長期履修学生入試

令和5年度 南九州短期大学		<input type="radio"/> 社会人Ⅰ期 帰国生徒Ⅰ期 長期履修Ⅰ期 <input type="radio"/> 社会人Ⅱ期 帰国生徒Ⅱ期 長期履修Ⅱ期			入学願書
受験番号 <small>(記入しない)</small>		試験地 本 学		写真貼付 1. 上半身正面無帽 2. 最近3か月以内撮影のもの 3. サイズ4.0×3.0cm <small>(入学願書と同じ)</small>	
学科名 国 際 教 養 学 科					
氏 名 フリガナ ミナミ タロウ 漢字 南 太郎		性 別 <input type="radio"/> 男 <input type="radio"/> 女		写真貼付 1. 上半身正面無帽 2. 最近3か月以内撮影のもの 3. サイズ4.0×3.0cm <small>(入学願書と同じ)</small>	
生 年 月 日 <small>(西暦)</small> 2000 年 6 月 14 日					
通知先住所 <small>(自宅)</small>		〒 880-0032 宮 崎 都 道 府 県 宮崎市霧島5丁目1番地2		長期履修学生 希望履修期間 <small>(○印をつける)</small> 3 4 5 6	
連絡先電話番号 (0985) 83 - 3435					
出身高等学校		出身課程 <small>(○印をつける)</small>		卒業年月 <small>(西暦)</small> 2019年 3月 卒業見込み	
所在地 宮 崎 都 道 府 県		<input type="radio"/> 全 日 制		<input type="radio"/> 普 通	
設 置 <small>(○印をつける)</small>		定 時 制		理 数	
市 町 村 立		通 信 制		農 業	
<input type="radio"/> 私 立		高卒認定		工 業	
高 校 名 宮 崎 高等学校		そ の 他		商 業	
コ ー ド 4 5 9 9 9 C				総 合	
				そ の 他	
				災害等罹災者 学納金減免制度 <small>(該当する者は○印をつける)</small>	
				※裏面記入	

※裏面を確認すること。

領 収 印

本票にて、入学検定料領収証とする。

切り離さないこと

◎本表のコード番号は、「令和4年度大学入試センター試験受験案内」から引用したものです。

— 23 —

佐世保実業	42519C
し島純中央	42518E
せ青道三川	42507K
精母の騎台	42521E
聖和女子学	42522C
創成学院	42511H
そ鎮西学	42515A
ちな長崎女	42510K
長崎女子商	42517G
属長崎南	42506A
長崎日本大	42504E
ひ久田学	42508H
園佐世保女	42509F
子42513D	
上記以外の高等学校等	42999G

	熊 本 県	
国 立		
	(特別支援学校)	
く	熊本大学教育学部附 43051 A	
	属特別支援	
	(高等専門学校)	
く	熊 本 高 専 43093 F	
公 立		
	(高等学校)	
あ	芦 北 43137 A	
	阿 蘇 中 43162 B	
	天 草 工 業 43145 B	
	天 草 拓 心 43154 A	
う	牛 深 43167 C	
	宇 土 43168 A	
	津 43129 A	
お	大 小 川 工 業 43119 C	
	小 川 工 業 43131 B	
	小 国 43123 A	
か	上 草 43164 J	
	鹿 本 43114 B	
	鹿 本 工 業 43115 A	
	鹿 本 業 43116 J	
き	菊 池 業 43117 G	
	菊 池 業 43118 E	
く	菊 池 工 業 43143 F	
	球 磨 中 央 43169 K	
	球 磨 北 31102 J	
	熊 本 北 43160 F	
	熊 本 工 業 43106 A	
	熊 本 商 業 43107 K	
	熊 本 西 43105 C	
	熊 本 業 43108 H	
こ	甲 佐 43127 D	
し	翔 陽 43120 G	
せ	せ 嶺 43101 A	
た	岱 志 43166 E	
	高 森 43124 K	
	玉 名 業 43110 K	
	第 一 43103 G	
	千 二 43104 E	
ち	東 台 43157 F	
と	南 校 43161 D	
な	必 院 43170 C	
ひ	人 校 43156 H	
	北 吉 43140 A	
ほ	松 校 43111 H	
ま	み 橋 43130 D	
	水 保 43165 G	
や	八 船 43126 F	
	八 代 業 43132 A	
	八 代 業 43135 E	
	八 代 流 43163 A	
	八 代 業 43136 C	
	矢 東 43133 J	
ゆ	湧 部 43128 B	
	心 館 43159 B	

(特別支援学校)

あ	芦 北 支 援 43442 G
	天 草 支 援 43457 E
	荒 尾 支 援 43456 G
お	小 津 支 援 43459 A
	大 国 支 援 43445 A
き	菊 池 支 援 43441 J
く	球 磨 支 援 43458 C
	熊本かがやきの森支 43431 A
	援
	熊 本 支 援 43454 A
	熊 本 は ば た き 高 等 支 43433 H
	援
	熊 本 ろ う 43452 D
	黒 石 原 支 援 43460 E
ひ	平 の く に 高 等 支 援 43444 C
へ	平 成 さ く ら 43432 K
ま	松 橋 支 援 43453 B
	橋 西 支 援 43455 J
も	盲 43451 F
や	八 代 支 援 43446 K
れ	苓 北 支 援 43443 E
私 立	

(高等学校)

あ	有 明 43516 D
か	開 新 43505 J
き	菊 池 女 子 43520 B
	九 州 学 院 43508 C
く	熊本学園大学付 43514 H
	属熊本国 府 43512 A
	熊 本 信 愛 女 学 院 43503 B
	くまもと清 陵 43524 E
	熊 本 中 央 43504 A
	熊本マリスト学 園 43515 F
け	慶 誠 43509 A
し	秀 岳 館 43513 K
	尚 綱 43502 D
	真 和 43519 J
	城 北 43522 J
せ	専 修 大 学 玉 名 43521 A
た	玉 名 女 子 43510 E
ち	鎮 西 43506 G
と	東海大学付属熊本星 43518 A
	翔
ひ	一 ツ 業 43525 C
ふ	文 徳 43517 B
や	八 代 白 百 合 学 園 43507 E
ゆ	勇 志 国 際 43523 G
る	ルーテル学 院 43511 C

上記以外の高等学校等	43999B
------------	--------

	大 分 県	
国 立		
	(特別支援学校)	
お	大分大学教育学部附 44051 F	
	属特別支援	
	(高等専門学校)	
お	大 分 工 業 高 専 44091 E	
公 立		
	(高等学校)	

あ	安 心 院 44152 A
う	宇 佐 44161 K
	宇 佐 産 業 科 学 44151 B
	臼 杵 44125 C
お	大 分 上 野 丘 44112 A
	大 分 雄 城 台 44114 H
	大 分 工 業 44115 F
	大 分 商 業 44116 D
	大 分 鶴 崎 44121 A
	大 分 西 44117 B
	大 分 東 44123 G
	大 分 豊 東 44158 K
	大 分 舞 鶴 44113 K
	大 分 南 44156 C

か	海 洋 科 学 44169 E
き	杵 築 44106 G
く	住 高 原 農 業 44170 J
	久 珠 山 44167 J
け	国 東 44162 H
さ	芸 丘 44110 E
佐	城 44129 F
伯	緑 南 44168 G
伯	豊 学 44159 H
報	科 館 44164 D
風	田 44101 F
そ	た 田 44138 E
	竹 見 44128 H
つ	津 崎 工 業 44122 J
な	中 津 北 44147 D
	中 津 東 44163 F
	中 津 南 44146 F
ひ	日 出 合 44165 B
	日 田 44142 C
	日 限 44143 A
	日 工 44144 K
へ	別 府 林 翔 青 44166 A
	別 府 鶴 見 丘 44109 A
み	重 合 44160 A
ゆ	由 布 44120 B

う	字 佐 支 援 44455 D
	臼 杵 支 援 44456 B
お	さ 分 支 援 44441 D
	佐 伯 支 援 44432 E
し	新 生 支 援 44457 A
た	竹 田 支 援 44431 G
な	中 津 支 援 44450 C
ひ	日 出 支 援 44433 C
	日 田 支 援 44458 J
へ	別 府 支 援 44453 H
み	石 垣 支 援 44459 G
も	盲 44451 A
ゆ	由 布 支 援 44434 A
ろ	う 44452 K
私 立	

(高等学校)

い	岩 田 44512 G
お	大 分 44502 K
	分 国 際 情 報 44516 K
	大 分 東 明 44504 F
し	昭 和 学 園 44510 A
た	藤 南 44515 A
と	藤 薩 44507 A
に	日 本 文 理 大 学 附 属 44513 E
ひ	東 九 州 龍 谷 44506 B
ふ	福 徳 学 院 44501 A
	府 内 44518 F
へ	別 府 溝 部 学 園 44511 J
め	や 明 豊 44517 H
柳	ヶ 浦 44508 J
よ	楊 志 館 44503 H

上記以外の高等学校等	44999H
------------	--------

	宮 崎 県	
国 立		
	(高等専門学校)	
み	都 城 工 業 高 専 45091 A	
公 立		
	(高等学校)	

い	飯 野 45139 J
か	門 川 45107 A
こ	小 林 45136 D
	小 峰 45147 K
さ	佐 原 45143 G
	土 城 45135 F
た	高 穂 45101 A
	高 鍋 45112 G
	高 業 45113 E
	高 農 45111 J
つ	都 農

妻	45149 F
と	富 島 45108 J
に	日 南 45125 J
	日 振 徳 45148 H
の	延 岡 45102 K
	延 岡 工 業 45104 F
	延 岡 業 45105 D
	延 岡 雲 45146 A
	延 岡 朋 45106 B
ひ	日 向 45110 A
	日 工 業 45109 G
ふ	福 本 島 45129 A
ほ	本 庄 45116 K
み	都 城 工 業 45130 E
	都 城 工 業 45134 H
	都 城 商 業 45133 K
	都 城 農 業 45132 A
	宮 崎 大 西 45131 C
	宮 崎 海 洋 45117 H
	宮 崎 工 業 45121 F
	宮 崎 工 業 45142 J
	宮 崎 商 業 45118 F
	宮 崎 業 45122 D
	宮 崎 西 45120 H
	宮 崎 農 業 45123 B
	宮 崎 東 45124 A
	宮 崎 南 45119 D

(中等教育学校)

こ	五 ヶ 瀬 45145 C
---	---------------

	(特別支援学校)
あ	赤江まつばら支援 45456 H
き	清武せいりゅう支援 45442 H
こ	小林こすもす支援 45435 E
	児湯るびなす支援 45434 G
に	日南くろしお支援 45441 K
の	延岡しろやま支援 45433 J
ひ	日向ひまわり支援 45432 A
み	みなみのかぜ支援 45431 B
	都城きりしま支援 45458 D
	都城さくら聴覚支援 45453 C
	みやざき中央支援 45455 K
	明星視覚支援 45452 E

私 立	
	(高等学校)
こ	小 林 西 45510 F
せ	聖心ウルスラ学 園 45513 A
に	日 南 学 園 45511 D
	日 章 学 園 45505 K
	日 章 学 園 九 州 国 際 45515 G
	の 延 岡 学 園 45507 F
ひ	日 向 学 院 45512 B
ほ	鵬 翔 45504 A
み	都 城 45508 D
	都城聖ドミニコ学 園 45514 J
	都 城 東 45509 B
	宮 崎 学 園 45502 E
	宮 崎 第 一 45506 H
	宮 崎 日 本 大 学 45503 C

上記以外の高等学校等	45999C
------------	--------

	鹿 児 島 県	
国 立		
	(特別支援学校)	
か	鹿児島大学教育学部 46051 G	
	附属特別支援	
	(高等専門学校)	
か	鹿 児 島 工 業 高 専 46091 F	
公 立		
	(高等学校)	

あ	奄 美 46166 A
い	伊 佐 農 林 46139 D
	伊 集 院 46122 K
	出 水 46136 K

出	市 工 業 46137 H
出	水 商 業 46179 C
市	来 農 芸 46123 H
指	宿 商 業 46110 F
指	額 娃 46178 E
え	お 口 46138 F
	大 島 46165 C
	大 北 46167 K
	大 沖 部 46173 D
か	開 永 良 46187 D
	鶴 翔 46188 B
	鹿 児 島 玉 龍 46175 A
	鹿 児 島 商 業 46107 F
	鹿 児 島 女 子 46177 G
	鹿 児 島 産 46114 J
	鹿 児 島 中 央 46103 C
	鹿 児 島 東 46106 H
	鹿 加 南 46108 D
	加 治 木 46143 B
	加 治 工 業 46144 A
	加 世 田 潤 46116 E
	加 世 常 屋 46117 C
	鹿 屋 業 46155 F
	鹿 屋 工 業 46157 B
	鹿 屋 女 業 46181 E
	鹿 屋 農 業 46156 D
	鹿 浦 生 46142 D
	川 辺 46118 A

き	喜 霧 江 湾 46193 J
	錦 木 商 野 46104 A
く	串 良 業 46124 F
	串 良 業 46153 K
こ	甲 南 46102 E
	国 分 中 央 46146 G
	古 仁 分 46180 G
さ	薩 南 工 業 46169 F
	薩 摩 中 央 46120 C
	志 布 志 46189 A
	志 陽 46151 C
	志 松 陽 46184 K
せ	川 薩 清 修 館 46192 A
	川 内 工 46125 D
	川 内 工 46126 B
そ	曾 武 台 46196 C
た	武 種 島 46186 F
	種 子 中 央 46191 B
	垂 子 島 央 46194 G
	垂 水 46158 A
つ	と 鶴 丸 46101 G
	徳 之 島 46190 D
な	楠 隼 46197 A
	野 田 女 子 46134 C
は	隼 人 工 業 46145 J
	吹 上 46121 A
	福 山 46185 H
ま	枕 崎 46113 A
み	南 隅 46159 J
め	明 館 46195 E
や	屋 久 島 46164 E
	山 川 46111 D
よ	与 論 46174 B

	(特別支援学校)
い	出 水 養 護 46441 E
指	指 水 養 護 46431 H
お	大 島 養 護 46458 K
か	鹿児島高等特別支援 46432 F
	鹿 児 島 盲 46451 B
	鹿 児 島 養 護 46453 J
	鹿 児 島 ろ う 46452 A
	加 治 木 養 護 46455 E
	鹿 屋 養 護 46457 A
く	串 野 養 護 46454 G
た	武 岡 台 養 護 46456 C
な	中 薩 養 護 46433 D
	南 薩 養 護 46442 C
ま	牧 之 原 養 護 46464 D
私 立	
	(高等学校)

令和4年度入学試験問題

小論文

総合型選抜Ⅰ期

(60分・600字)

課題 「大学生としての教養」とか「社会人としての教養」というように「〇〇としての教養」と言われる場合がありますが、そこにおける教養とはどのようなものだと思いますか。またその教養を身に付けるためにはどのようなことをするべきだと思いますか。600字以内で述べなさい。

小論文

学校推薦型選抜Ⅰ期、社会人選抜Ⅰ期、帰国生徒選抜Ⅰ期

(60分・600字)

課題 今までの学校生活で得たものは多いと思いますが、あなたの考え方や行動に影響を与えたものはどのようなものですか。またそれはどのようにあなたに影響を与え、今後のあなたの生活に活かされていくものですか。600字以内で記述しなさい。

小論文

学校推薦型選抜Ⅱ期

(60分・600字)

課題 今までの学校生活において取り組んだことで、最も印象的なことはどのようなことですか。それは、なぜあなたにとって印象的なのですか。600字以内で記述しなさい。

Ⅰ、次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

インダス川はパキスタンをたてに、つまり北から南に流れ、カラチの東、百キロほどのところで、アラビア海に注いでいる大河ですが、この川はじつに、㉔不思議な川なんですね。というのは、この川には岸がないんです。だからその正体がなかなかつかめない。

(㉔)、岸と思われるところはあるんですが、そこは、アシが生えている湿地帯で、沼のような湿地がずっと流れのところまで続いている。というわけで、流れのそばへ近づくことができないんです。もし、むりをしてその湿地帯に足を踏み入れようものなら、腰までズブズブとつかつてしまうでしょう。

このインダス川を空から見たこともあります。ほんとうにびっくりしました。蛇がのたうち回っている、なんていう形容がありますが、まさにそのとおりで、水が勝手㉕ホウダイにのたくつている。川筋も見分けられない始末です。おそらく世界の大河の中でいちばん統御しにくいのはインダス川じゃないかと思います。

(㉕)、皮肉なことに、このすさまじい川のほとりに、古代世界で最も文化の高かったといわれる「インダス文明」の都市が、いくつも栄えていたんですね。今から四千年以上前のことです。いろいろな都市がありましたけれども、その中でも特に有名なのがモヘンジョ・ダロといわれている町です。

モヘンジョ・ダロというのは、現地の言葉で「死者の丘」という意味だそうです。その言葉どおりに、この町は千年ほど続いた後、原因不明のまま滅び去って、死者の丘になってしまいました。世界の不思議というなら、このモヘンジョ・ダロこそ、不思議そのものといつてもいいと思います。

というのは、これほど㉖高度に発達した文明が、なぜ、いきなり滅びたのか、その原因が分からないからです。それに始まって、謎は続々と出てきます。

(㉖)、滅亡の原因は何だったのかという謎ですが、それを解く手がかりが見つかりません。外敵に㉗セイフクされ、破壊されたんでしょうか。しかし、それにしてはその㉘コンセキが見当たらない。考古学者たちがいくら調べても人骨も出てこなければ、武器らしい武器も見えないんです。ですから、敵に攻められて滅びたとは思えません。

では、㉙エキビヨウで滅びたのか。そう考えられないこともありませんが、この都市は衛生設備がじつによく行き届いていたんです。四千年以上も前というのに、水洗便所までがしつらえてあるんですね。下水道も見事に完備していました。当時の他の都市のひどい生活水準にくらべて、ずばぬけた施設を持つこの文明都市が、よりによつてエキビヨウに襲われるなんていうことは、ちよつと考えられないではありませんか。

つぎに推測できるのはインダス川の洪水による被害ということです。たしかに洪水はありました。しかし、よく調べてみますと、何度も洪水に襲われながら、モヘンジョ・ダロの住人たちは、そのつど町を復旧させ、住み続けているんですね。それが洪水を境に、完全にすがたを消してしまうというの、やはり納得いきません。

(㉙)、地震か。地震説が最近では有力のようです。(㉚)、幾多の洪水にも生きのびた人たちが、地震による㉛ホウカイぐらいで消え去ってしまうのでしょうか。現代のような高層ビルが建てられていたわけではないし、大火災といつても避難場所はいくらでもあったはずですよ。

さらに考えられるのは、インダス川が水路を変え、遠のいてしまったため、まわりが砂漠のようになって住めなくなってしまうという見方です。しかし、以上のどれも、きめ手になる「物証」を欠いています。

森本哲郎 「旅物語」講談社

問一 文章中の㉗㉘㉙のカタカナを漢字に直し解答欄に書きなさい。

問二 文章中の(㉔)(㉕)(㉖)に最もよく当てはまる言葉を次の中から選び、その記号を解答欄に書きなさい。同じ記号を選んでもよい。

ア すると イ しかし ウ まず エ ともかく オ ところが

問三 文章中の傍線部㉑の理由を、筆者が語っているが、それらを分かりやすくまとめ、七十字以内で解答欄へ書きなさい。

問四 文章中の傍線部㉒の理由として考えられることを六十字以内で解答欄へ書きなさい。

二、次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

人が本を読まなくなつた。あれほど(㉑)ケンゴに見えた(紙の本)への信頼感がぐらりと揺らいだように思える。このさき私たちの読書環境はどう変わつてしまうのだろうか。

こうした不安をもたらした犯人はデジタル革命だという説があります。ゲームやSNSのせいだとか、なにもかもインターネットがわるいのだから――。

(一)でも、はたしてそう簡単にいいきつてしまえるのかどうか。

だいいち若者の「本ばなれ」が顕著になつた七〇年代末には、デジタル時代はまだ(㉒)緒についたばかり。戦後はじめて本の総売上が下降に転じたのも、インターネットや携帯電話が広く定着したのも、すべて九〇年代が終わり近くなつてからのことなのです。であるからには、どう考えても読書習慣のおとろえの責任をまるごとデジタル革命に負わせることにはむりがある。それよりも、このおとろえは二十世紀後半、デジタル革命の開始以前に、(紙の本)の世界の内側で徐々に(㉓)ジヨウセイされてきたと考えておくほうが、よほど自然なのではないだろうか。

もうひとついえば、新しく興隆したメディアが(紙の本)をほろぼすという危機の構図にしても、それ自体は新しいものではなく、すでに出版産業化が本格化した一九二〇年代にはすがたを現していました。このときの本の敵は映画(無声映画)です。たとえばチェコの人気作家でジャーナリストのカレル・チャペック。かれは一九二五年に、早くも(㉔)セイジユク期に足を踏み入れた映画の力をたたえて、これからは本を読む「概念タイプ(老年世代)」にかわつて映画で再教育された「視覚型人間(現代の人間)」が増えてゆくだろう、と予言していた。

読書タイプの人間は忍耐強い。周囲の状況を認識し、事件の記録のなかに腰を据え、話を最初から最後までたどつていくだけの十分な時間を取る。

視覚的タイプはそれほど忍耐強くありません。状況を一目で把握し、時間をかけずに話の筋を飲み込んでしまいたがります。そして、次の瞬間にはもう新しい何かを物色しているのです。しかし、もしかしたら、たつぷり息を吸うために、映像の急流から逃れ、本に戻る人も出てくるかもしれません。(略)多分ね、そんなこと誰にわかるのです?――多分、書物はだんだんと死に絶えていくでしょう。もしかしたらバビロンの文字の書かれた煉瓦のように奇妙な記念碑になるでしょう。でも、芸術は死に絶えることはありません。

(「目の世代」)

文脈がすこし混乱しているので、チャペックが「本に戻る人」に批判的な距離をおいているようにも読めます。でも、たぶんそうじゃないな。かれが人間をつくりかえる映画特有のスピード感に魅せられていたのは事実でしょうが、それと同時に、ねばりづよく「周囲の状況を認識」し、十分な時間をかけて「最初から最後まで」話につきあふという「読書タイプの人間」の習性にも、おなじくらい、もしくは

はそれ以上につよく共感していた。チャベックが同時期に書いたいくつかのエッセイから見ても、かれのうちに「進歩する人間」とならんで、ひとりの確信的な「本に戻る人」がいたことはあまりにもあきらかなのです。

そして、このチャベックのうちなる「読書タイプの人間」と「視覚型人間」との(d)カットウの劇が、百年後、映画をインターネットに「視覚型人間」を「デジタル型人間」におきかえて、そっくりそのまま繰り返かえされます。私の場合でいえば、数年まえ、たまたま雑誌で津村記久子の「咳と熟読」という文章を読み、おや、おれは以前、これと似たようなことをどこかで読んだことがあるぞと、チャベックのこのエッセイのことを思いました。

津村の「咳と熟読」によると、いつとき本をはなれてインターネットに熱中した彼女は、やがてネット情報の「瞬間湯沸かし」的な収集に疲れて、ふたたび本を読むようになったらしい。「情報」をいそがしく「脳味噌に注入」するかのとき「(e)ホウワ状態」のなかで「逆説的に、自分が本から得ていた主な栄養は「情報」ではないのだな」と気づいたというのです。

本を読み始めた頃、読むことは、ひたすら体験だった。図書室で借りてきた本のぼろぼろさ加減とその物語は、一体のものとなって記憶されている。喘息の発作の後、親に隠れて本を読んでいる自分自身もまた、物語の一部だったように思える。ああ、『チム・ラビットのぼうけん』はおもしろかったなあ、と思いつく時は、必ず、小学二年の時に住んでいたマンションの六畳の寝室と、窓から差し込む昼間の光と、苦かった薬と裏腹に魅力的だった吸入器の味のことを思い出す。

そういう、体を伴った読書を再び求める。

ネット情報との付き合いに疲弊して「読書を再び求める」ようになった。つまりはそういうこと。
(2)彼女もまた、チャベックがいう「たつぷり息を吸うために、映像(情報)の急流から逃れ、本に戻る人」のひとりだったのです。

津野海太郎(二〇一六)『読書と日本人』岩波書店

問一 傍線部(a)と(e)のカタカナを漢字に直し、解答欄に書きなさい。

問二 傍線部(A)について、「緒につく」の意味を答えなさい。

問三 傍線部(1)について、作者がそう考える理由を本文に即して七〇字以内で説明しなさい。

問四 傍線部(2)について、「たつぷり息を吸う」とはどのようなことか。本文に即して五〇字以内で説明しなさい。

1 次の英文を完成させるのに最も適切な選択肢を選び、記号で答えよ。

(1) I could often hear my next-door neighbor () the piano.

- a. plays b. played c. to play d. playing

(2) The cooking () was presented by a famous chef from France.

- a. demonstrate b. demonstrator c. demonstration d. demonstrating

(3) I used to () out with friends a lot at a hamburger shop near my school.

- a. hang b. talk c. play d. study

(4) Since the clinic was short () staff, patients were often kept waiting for a long time.

- a. for b. of c. in d. on

(5) We are always () about the future of the community.

- a. hope b. hopeful c. hopefully d. hopefulness

(6) This traditional food has () by Japanese people for centuries.

- a. love b. loved c. been loving d. been loved

(7) The restaurant will () food to your hotel room at around 12:00 pm.

- a. deliver b. delivery c. delivering d. be delivered

(8) When you called me yesterday, I was on my () to the office.

- a. time b. phone c. way d. car

(9) I am looking forward to () with you again soon.

- a. work b. works c. worked d. working

(10) Monaco is one of the smallest () in the world.

- a. of country b. country c. of countries d. countries

2 次の5つの英文を一続きの文章になるように適切な順序に並べよ。その際、例を参考にステップ1～ステップ3の指示に従って答えを解答用紙に記入せよ。

- a. Pour the mixture into a cake pan and bake in the oven for 30 minutes.
- b. To bake a cake just follow these easy steps.
- c. Then mix in the milk, eggs, and vanilla.
- d. Take out the cake and make sure to let it cool before you eat it.
- e. First, put the dry ingredients, like flour, sugar, and baking powder in a large bowl.

ステップ1：上のa.～e.を適切な順序に並び替えて、以下に記入せよ。

あなたの答え	例
→ → → →	<i>a</i> → <i>e</i> → <i>b</i> → <i>d</i> → <i>c</i>

ステップ2：ステップ1で記入した記号を、以下の指示に従って記入せよ。

※次に来るものがない場合は「なし」と記入せよ。

あなたの答え	例
aの次に来るもの	aの次に来るもの <i>e</i>
bの次に来るもの	bの次に来るもの <i>d</i>
cの次に来るもの	cの次に来るもの なし
dの次に来るもの	dの次に来るもの <i>c</i>
eの次に来るもの	eの次に来るもの <i>b</i>

ステップ3：ステップ2で記入した記号を、解答用紙に記入せよ。

3 以下はSamとGaryの対話である。2人の対話が自然な流れになるよう、Garyの部分(a)～(e)に英文を記入せよ。(a)～(e)の各下線には文を2文ずつ記入せよ。

Sam: Hi, Gary. How was your weekend?

Gary: (a) _____

Sam: Camping? That is great. Did you go hiking also?

Gary: (b) _____

Sam: That's nice. I need exercise too. Did you sleep in a tent?

Gary: (c) _____

Sam: Cool. I've always wanted to sleep under the stars. Could you sleep well?

Gary: (d) _____

Sam: I don't like mosquitos either. They always bite me.

Gary: (e) _____

4 次の英文を読み、設問に答えよ。

Using Dogs to Sniff Out the Coronavirus

Dogs are being trained to *sniff out COVID-19, the disease caused by the new coronavirus. (A), dogs seem to be quite good at detecting the illness, but it's not clear yet how useful these skills will be.

Several groups of scientists around the world are training dogs to detect the coronavirus. There are programs in Europe, South America, Asia, and Australia.

Dogs are known for their sense of smell. Because of the way their noses work, a dog's sense of smell can be up to 40 times (B) than a human's. Dogs have been trained to ①**locate** bombs and drugs. They can even smell certain human diseases like malaria, cancer, and *diabetes.

Training dogs to sniff out the coronavirus could create a quick and harmless way to check someone for the virus.

While the coronavirus itself doesn't have a ②**scent**, if you get sick, your body gives off a certain smell through your sweat, spit, or pee. This smell is (C) the dogs are trained to sniff out. To train the dogs, scientists need lots of samples, both from people who've gotten the coronavirus and those who haven't.

Scientists say that the dogs can smell the virus even if the person isn't showing any ③**signs** of illness. That could be (D), since the coronavirus can be spread by people who don't even know they're sick.

To train the dogs, scientists place an item carrying the coronavirus (such as a sock) in a jar. The dogs are given a chance to smell the item, as well as other items without the virus. When the dogs correctly select an item with the coronavirus, they get a treat. Soon they learn that sniffing out the virus leads to a ④**reward**.

The plan has a few *drawbacks. (E) does it take a long time to train the dogs, it's also not clear how many people the dogs could check.

During training, scientists can control how often coronavirus samples come up, and make sure the dogs get regular rewards. In real life, the dogs might have to do a lot of sniffing before they find someone with the coronavirus.

Still, there are strong signs it could work. In some tests, dogs have had a 94% success rate. In Dubai, United Arab Emirates, dogs are already working in airports to help identify sick people.

Some people worry that the dogs could catch the coronavirus themselves and spread it. Scientists say that's unlikely. Still, to ⑤**prevent** the dogs from getting sick or spreading the virus, scientists are being very careful.

Items with the coronavirus are specially treated so that they keep their smell, but are safe for the dogs. The dogs are even tested regularly to make sure they're healthy.

If the training programs are successful, scientists hope to train even more dogs, and expand the programs to other countries.

注) sniff out においを嗅いで探り当てる diabetes 糖尿病 drawback(s) 欠点

(1)本文中の下線部①～⑤の単語について、英文中の文脈に合う意味として最も適切な選択肢をa.～d.の中から1つ選び、記号で答えよ。

- | | | | | |
|----------|---------|---------|----------|---------|
| ①locate | a. 訪ねる | b. 探し出す | c. 追いかける | d. 噛み付く |
| ②scent | a. におい | b. 触手 | c. 色 | d. 汗腺 |
| ③sign(s) | a. 署名 | b. 合図 | c. 看板 | d. 兆候 |
| ④reward | a. ほうび | b. 返事 | c. 訓練 | d. 成功 |
| ⑤prevent | a. 感染する | b. 逃げる | c. 防ぐ | d. 捕獲する |

(2)英文中の空欄(A)～(E)に入れるものとして最も適切な選択肢をa.～d.から1つ選び、記号で答えよ。

- | | | | | |
|-----|--------------|--------------|-------------|-----------------|
| (A) | a. Therefore | b. And yet | c. So far | d. For instance |
| (B) | a. healthier | b. bigger | c. stronger | d. faster |
| (C) | a. what | b. that | c. how | d. why |
| (D) | a. medical | b. important | c. required | d. secret |
| (E) | a. So only | b. Nor only | c. If only | d. Not only |

(3) 次の英文を読み、その内容が本文の内容と合っている場合は○を、合っていない場合は×を記入せよ。

- a. Training dogs to detect the coronavirus is an international effort.
- b. Dogs are already being used to detect other illnesses.
- c. Training dogs to sniff out the coronavirus is quick and harmless.
- d. Your body's smell changes if you have the coronavirus.
- e. Dogs can smell the virus even if the person does not look sick.
- f. Scientists always carry a sock in a jar to train the dogs.
- g. Dogs have had a 94% success rate at sniffing the coronavirus at airports.
- h. Scientists think dogs will probably not catch the coronavirus and spread it.
- i. Dogs are tested regularly to make sure they can still detect the coronavirus.
- j. Scientists will expand the programs to other countries to make them successful.

(4) 英文の内容を踏まえ、次の質問に対するあなたの意見を50語程度の英語で書け。

Question: Other than wearing a mask, what do you usually do not to catch the coronavirus?

以下の1～9の問題について解答せよ。解答欄に計算式等も記すこと。

1. n が3以上の奇数のとき、 n^2-1 は8の倍数となることを証明せよ。
2. $\frac{2}{\sqrt{11}-3}$ の整数部分および小数部分の値を求めよ。
3. 次の式を因数分解せよ。
① $(x+y)^2-9x-9y+18$
② $x^4+x^3y-xy^3-y^4$
4. xy 平面において、放物線 $y=x^2$ が直線 $y=3x+10$ から切り取る線分の長さを求めよ。
5. x に関する二次方程式 $2ax^2+3ax-a^2-4=0$ が2つの解を持ち、一方の解は $x=1$ だという。
このときの a の値および他方の解を求めよ。
6. 1辺の長さが a の正三角の面積およびこの三角形に内接する円の面積を求めよ。
7. 次の二次不等式を解き、整数解の個数を求めよ。
① $x^2-8x+14 \leq 0$
② $-8x^2+8x+136 > 0$
8. $\sin \theta \cos \theta = 0$ のとき、 $\sin \theta + \cos \theta = \pm 1$ であることを証明せよ。
9. 次のデータの平均値、中央値、分散、標準偏差を求めよ。
4, 6, 5, 7, 8, 5, 7, 6

Ⅰ、次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

兼好のいう「恐れ」とは、㉔恐怖で足がすくんで動けなくなってしまうのとは違う。「恐れ」といつても、二種類ある。一つは、とくに理由がないのに、㉕バクゼンと抱く「恐れ」であり、実体がわからない不安が恐れに結びつく。もう一つは、「問題やトラブルが起こりそうだ」と予測するために抱く「恐れ」である。

(㉔)、兼好は達人とは、後者の「恐れ」を感じとる能力のある人だというわけである。

なぜ、問題やトラブルが生じそうだと予測できるのかといえば、それまでの体験などから、問題が生じる可能性のある、注意しなければならないチェックポイントが明確にわかっているからである。

(㉕)、そのチェックポイントを一つひとつチェックしていき、クリアにしていく。少しでもリスクがあれば、それを㉖カイショウしてからはじめる。カイショウできないようなことがあれば、そこで危険を冒さずに踏みとどまる。(㉖)、決して㉗ムボウなことはしない。

問題をクリアにできれば、確信を持って、㉘カカンにはじめることもできるのだ。

逆に、チェックポイントがわかっていない人は、恐怖に足がすくんでしまい動けなくなってしまうか、恐れを知らずにやってしまうと大失敗するか、どちらかに陥ってしまう。

この兼好の言葉から、何事であれ、私たちが、何か事をしようとする場合、どういう態度でやればいいかを学ぶことができる。

兼好は、「心に懸る事あらば、その馬を馳すべからず」というように、「何かひっかかったことがあったときにはやらないほうがよい」というわけである。心にひっかかっているということは、チェックポイントがカイショウされていない状態である。

㉙ここで間違つてほしくないことは、一般によくいわれる「迷つたらやれ」という言葉との㉚コンドウである。(㉙)、迷つてばかりいては何もはじめられない。それでは、結局は、勉強であれ、仕事であれ、進まない。

「迷つ」といつても、「それをやれば問題が生じそうだと、ある程度チェックポイントがわかつて迷っている場合と、バクゼンと恐れや不安を抱いて迷っている場合がある。「迷つたらやったほうがよい」というアドバイスに従つたほうがいいときは、前者のケースであり、それも、チェックポイントをきちんとカイショウしてからの話である。

ただ迷っているだけの状態は、チェックポイントがわからずに、恐怖に足がすくんでいるのと同じである。その恐怖心を無理矢理に吹っ切つて清水の舞台から飛び降りるように「えいっ」とばかりにやつても、まず成功の可能性はない。それはムボウというものだ。

ことに乗馬のように、失敗したら命の危険があるとか、この仕事を失敗したら、出世の見込みがなくなる、場合によってはリストラされるといったビジネスマンとしての命取りになりかねないような場合には、失敗しないように、チェックポイントをはつきりさせて、少しでも失敗する危険性があるのなら、やめておくのが賢明だろう。それが達人だと兼好はいつているわけである。

(㉚)、兼好の時代の乗馬は現代であれば、車の運転に匹敵するだろう。車を運転していて信号のない、見通しの悪い交差点を右折しようとするとき、直進車が来ることを確認もせず曲がつまうのは、ムボウといえる。横から車が飛び出してこないかをミラーで確認しながら、あるいは、飛び出してきた車にも間に合うタイミングで出ていくのが注意深い人の態度だろう。

齋藤孝「使える！「徒然草」」PHP研究所

問一 文章中の㉗㉘㉙のカタカナを漢字に直し解答欄に書きなさい。

問二 文章中の(㉚) (㉛) (㉜) に最もよく当てはまる言葉を次の中から選び、その記号を解答欄に書きなさい。同じ記号を選んでもよい。

アそして イたしかに ウたとえば エだから オつまり

問三 文章中の傍線部㉚の意味を分かりやすくまとめ、五十字以内で解答欄へ書きなさい。

問四 文章中の傍線部㉛の理由として考えられることを六十字以内で解答欄へ書きなさい。

二、次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

ある内容を人に伝えたいとき、私たちは言葉を使う。㉑ 誰かを好きになったとき、その気持ちを言葉にして「愛してます」などと相手に伝える。

さて、このとき「愛してます」という言葉を発したほうと、「愛してます」という言葉を受け止めたほうは、同じ内容を共有しているだろうか。

「愛してます」と言ったほうは、一〇〇パーセントウソいつわりなく、好きだという気持ちをその言葉にして表現したかもしれない。けれども、その言葉を受け止めたほうはどうだろう。「言葉ではそう言っているけれど、本心はわかったものじゃない」と(㉒)カイシヤクしているのかもしれない。もちろん、その逆、つまり冗談半分の「愛してます」を本気に受け止めてしまうことだってあるだろう。

言葉は記号にすぎない。㉓ 人によってカイシヤクは微妙に異なる。そういうわけでコミュニケーションは難しい。これは何も恋愛に限ったことではない。皆さんも経験があると思う、「そんな意味で言ったんじゃないのに……」と相手に誤解されてしまったことが。(㉔)言葉を使う意思ソツウは、とてもややこしい。

㉕ 世の中には「言葉を使わない意思(㉕)ソツウ」というものがある。日本ではこれを「阿吽の呼吸」という。

神社の本殿などで左右向かい合わせの狛犬像があるのを見たことがあるだろう。あれは口を開いているほうの狛犬が「阿」と言い、口を閉じているほうが「吽」と言っている。しかも、それを同時に言う。

㉖ 情報の発信と受信が同時に行われて、言葉という記号を介さずにお互いが理解し合っている状態を示している。

そんなオカルトじみたこと……と思うかもしれない。しかし、言葉を介さずに理解し合うコミュニケーションは現実にはたくさんある。

一九九二年に外国人初のサッカー日本代表監督に(㉗)シユウニンしたハンス・オフト監督は、試合中に「アイコンタクト」でサインを送る手法を選手に教えた。互いに目と目で伝え合うのがアイコンタクトだ。サッカーのフィールドで選手が他の選手に「五〇メートル先にパスを出すから走れー」などと喋(はな)つていたら試合に負けてしまう。アイコンタクトをサインにして、パツと目配せした瞬間に次の動作を取れ。オフト監督は選手たちにそう指示した。

この「アイコンタクト」はまさに「阿吽の呼吸」。言葉はいらない。目を合わせるその瞬間に互いに意味を感じ合う。お互いの意味が違ってしまう場合も当然あるだろう。㉘ 成功すればすばらしい速度での意志の伝達が可能になる。

実のところ、このようなコミュニケーションは、私たちもふだん知らず知らずのうちにしているのだ。

会議ではよく「この件に関しましては、そういうことでよろしいでしょうか。」などと議長が参加者に質す。「この件」「そういうこと」。部外者には何のことかさっぱりわからないが、会議に参加しているメンバーは、こうした代名詞だけで理解できる。ひととおり座を見回した議長は、誰も何も言わないのを見計らって「(d)イギがございませんようですので、この件はそうに進めさせていただきます」と、その場を締めくくる。

日本の会議は、こんな風に進行される事も少なくない。誰も何も言わないことによつて(e)アンモクの合意が形成されてしまう。その結論に対して誰かが責任を取るのではなく、その場に居合わせたみんなで責任を共有する。

言葉や行為ではなく、表に出さない密かな思惑によつて物事を進めることを「腹芸」というが、これも腹芸の一種だろう。何も言わない。「」とカギカッコの中は空っぽ。それでも意思が伝わる。これは日本的なコミュニケーションの特徴の一つで、しばしばわかりにくいとされる。

しかし別の角度から見れば、非常に高度なコミュニケーションともいえると思う。誤解を招く危険性の高さ。責任の所在を明らかにしない曖昧さ。そうしたアイナス面があることを承知の上で、私たち日本人はこうした「空っぽを介したコミュニケーション」を選んできた。ということは、(B)そこになにがしかの効率性があるからである。

「意味の交差点」というものがあるでしょう。道路の交差点では、信号というルールに従つて事故が起こらないように整然と自動車が行き交う。人と人とのコミュニケーションも同じこと。「意味の交差点」では互いに意見を戦わせるが、他人の話を遮らない、人格攻撃はしない、といった一定のルールに則^{したが}っているからこそ、ケンカにはならない。それでもしばしば「交通事故」は起きる。信条や宗教の違いなど、議論では埋められない衝突点というものもある。

では「意味の交差点」の真ん中に空っぽの空間があつたらどうだろう。そこにさしかかつたら全員、自分の思うようにそこをカインヤクしてよい、と決めておくとするなら互いにぶつかることはない。「交通事故」は起こりにくい。日本人が選んだ「空っぽのコミュニケーション」とは、そういうことかもしれない。

桐光学園＋ちくまプリマー新書編集部編(二〇一八)『創造するということ』筑摩書房

原研哉「日本のデザイン、その成り立ちと未来」

問一 傍線部(a)と(e)のカタカナを漢字に直し、解答欄に書きなさい。

問二 空欄 ① と ⑤ に最も適当な接続詞を次の1～5の中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

1 だから 2 つまり 3 たとえば 4 ところが 5 しかし

問三 傍線部(A)「言葉を使う意思ソツウは、とてもややこしい」とはどういうことか。本文に即して六〇字以内で説明しなさい。

問四 傍線部(B)について、「空っぽを介したコミュニケーション」の効率性とは何か。本文に即して五〇字以内で説明しなさい。

1 次の英文を完成させるのに最も適切な選択肢を選び、記号で答えよ。

(1) I would like to () some information with you all.

- a. give b. share c. pass d. send

(2) Do you know the girls () with Ms. Hashimoto right now?

- a. talk b. to talk c. talking d. been talking

(3) He didn't () to cause you trouble.

- a. intend b. intends c. intended d. intentionally

(4) He () computer programming by the time he graduated from high school.

- a. has mastered b. had mastered
c. has been mastering d. had been mastering

(5) I am not really () with ancient Greek history.

- a. familiar b. interested c. generous d. knowledgeable

(6) It is difficult for me to () a life without music.

- a. image b. imagine c. imaginary d. imaginable

(7) I learned in science class that water consists () oxygen and hydrogen.

- a. of b. with c. in d. from

(8) I think we should put a () on how much you can use SNS each day.

- a. restrict b. restricted c. restricting d. restriction

(9) Her speech was not bad. On the (), she received a standing ovation.

- a. opposite b. contrast c. contrary d. other hand

(10) I tried to get her () our project again and again, but she showed no interest.

- a. join b. to join c. joining d. to joining

2 次の5つの英文を一続きの文章になるように適切な順序に並べよ。その際、例を参考にステップ1～ステップ3の指示に従って答えを解答用紙に記入せよ。

- a. I had to go home to get it and noticed that the mail arrived.
- b. Yesterday was a great day. I can't believe how lucky I am.
- c. I got a postcard from the local store where I always do my shopping.
- d. I was going to the mall and then realized I forgot my phone.
- e. They said I won the latest new popular phone. I am so lucky.

ステップ1：上のa.～e.を適切な順序に並び替えて、以下に記入せよ。

あなたの答え	例
→ → → →	<i>a</i> → <i>e</i> → <i>b</i> → <i>d</i> → <i>c</i>

ステップ2：ステップ1で記入した記号を、以下の指示に従って記入せよ。
 ※次に来るものがない場合は「なし」と記入せよ。

あなたの答え	例
aの次に来るもの	<i>a</i> の次に来るもの <i>e</i>
bの次に来るもの	<i>b</i> の次に来るもの <i>d</i>
cの次に来るもの	<i>c</i> の次に来るもの なし
dの次に来るもの	<i>d</i> の次に来るもの <i>c</i>
eの次に来るもの	<i>e</i> の次に来るもの <i>b</i>

ステップ3：ステップ2で記入した記号を、解答用紙に記入せよ。

3 以下はGaryとSamの対話である。2人の対話が自然な流れになるよう、Samの部分(a)～(e)に英文を記入せよ。(a)～(e)の各下線には文を2文ずつ記入せよ。

Gary: Hi, Sam. You know a lot about phones, don't you?

Sam: (a) _____

Gary: I ask because I need to buy a new phone. What functions are important to check?

Sam: (b) _____

Gary: Yes, I take pictures and videos with my phone all the time.

Sam: (c) _____

Gary: That's a good point. Anything else?

Sam: (d) _____

Gary: Thanks, Sam. Your advice really helped.

Sam: (e) _____

4 次の英文を読み、設問に答えよ。

Atlantic Has 10 Times More Plastic Than Scientists Thought

Researchers report that there is 10 times more plastic in the Atlantic Ocean than previously thought. The scientists got their results by collecting samples of “invisible” *microplastics below the ocean’s ①*surface*.

Microplastics are tiny bits of plastic, often too small to be seen. Plastic doesn’t “*decompose” like natural materials (such as wood). (A), it just breaks into smaller and smaller pieces.

No one knows exactly how much plastic is in the oceans. Since the sea is so large and so deep, it’s hard to get a good idea of (B) much plastic it contains. But in recent years, scientists have made greater efforts to get a more ②*accurate* idea.

Some studies have suggested that since 1950, about 17 million *metric tons of plastic have entered the Atlantic Ocean. Scientists believe that the plastic found on beaches and on the surface of the water is only about 1% of all the plastic in the oceans.

Researchers from the National *Oceanography Center (NOC) in the United Kingdom (UK) wanted to find out where the other 99% was.

For two months in 2016, the researchers took samples at 12 different (C) in the Atlantic Ocean, from the UK to South America. They collected water samples from three different depths in the top 200 meters (218 yards).

By running the water through special filters, they were able to collect the microplastics, which they could view and study with a microscope.

(D) their measurements, the researchers learned that just the top 200 meters of the Atlantic Ocean holds between 12 and 21 million metric tons of plastics.

But the Atlantic Ocean is very deep, and the scientists only checked the top 200 meters. They say that if microplastics are spread through the rest of the Atlantic like they were in the top 200 meters, then there are probably about 200 million metric tons of microplastics in the Atlantic Ocean.

That’s more than 10 times (E) scientists thought before. Dr. Katsiaryna Pabortsava, the lead scientist, said, “Our key finding is that there is an awful lot of very, very small microplastic particles in the upper Atlantic Ocean, much higher than the previous ③*estimate*.”

In fact, it’s likely that there’s more plastic than the researchers reported, since they only looked at three of the most common kinds of plastic, and ④*ignored* others.

Though the scientists only studied the Atlantic Ocean, the results suggest that there may be far more microplastic in all oceans than we realized.

The problems go far beyond ocean pollution. Microplastic particles have been found just about everywhere around the world, from *Antarctica to the bottom of the sea.

Microplastics have been found in *tap water, bottled water, and even the air we breathe. A recent study tested five different kinds of seafood and found bits of plastic in every sample.

Scientists ⑤***predict*** that the amount of plastic entering our oceans is likely to triple over the next 20 years. Having a good idea of how much plastic is already there might be a good first step to fighting the problem.

注：microplastic マイクロプラスチック decompose 分解する
metric ton (s) メートルトン(1,000kg相当) oceanography 海洋学 Antarctica 南極大陸
tap water 水道水

(1) 本文中の下線部①～⑤の単語について、英文中の文脈に合う意味として最も適切な選択肢をa.～d.の中から1つ選び、記号で答えよ。

- | | | | | |
|--------------|---------|---------|---------|---------|
| ① surface | a. 海拔 | b. 海流 | c. 表面 | d. 水面 |
| ② accurate | a. 大胆な | b. 具体的な | c. 正確な | d. 革新的な |
| ③ estimate | a. 測定 | b. 推定 | c. 暫定 | d. 確定 |
| ④ ignore (d) | a. 含む | b. 区別する | c. 無視する | d. 採取する |
| ⑤ predict | a. 予測する | b. 確信する | c. 断言する | d. 懸念する |

(2) 英文中の空欄(A)～(E)に入れるものとして最も適切な選択肢をa.～d.から1つ選び、記号で答えよ。

- | | | | | |
|-----|-------------------|---------------|----------------|----------------|
| (A) | a. Besides | b. Instead | c. Further | d. Likewise |
| (B) | a. how | b. why so | c. what | d. that |
| (C) | a. seas | b. ships | c. islands | d. locations |
| (D) | a. In addition to | b. Along with | c. Based on | d. Rather than |
| (E) | a. as many as | b. as much as | c. as heavy as | d. as deep as |

(3) 次の英文を読み、その内容が本文の内容と合っている場合は○を、合っていない場合は×を記入せよ。

- a. Researchers did not realize how much plastic is in the oceans.
- b. Natural materials usually decompose in the water.
- c. With great effort, researchers now know exactly how much microplastic is in the oceans.
- d. Scientists have found only 1% of plastic in the oceans.
- e. Three different water samples every 200 meters deep were collected.
- f. Scientists are not sure if the microplastics spread in the deep waters.
- g. There are other different kinds of plastics that the scientists did not check.
- h. Microplastics are only an ocean pollution problem.
- i. Sea life eat the microplastics in the oceans.
- j. Scientists will triple the effort to fight the problem in the next 20 years.

(4) 英文の内容を踏まえ、次の質問に対するあなたの意見を50語程度の英語で書け。

Question: What can we do to reduce plastic waste?

以下の1～9の問題について解答せよ。解答欄に計算式等も記すこと。

1. n が3の倍数でない自然数のとき、 $2n^2+1$ は3の倍数になることを証明せよ。

2. 集合A, Bはともに5個の要素を持つ。

$$A = \{ 2, 3, a, b, 2a \}$$

$$B = \{ -2, -1, 2, 4, a^2 \}$$

a, b は二次方程式 $x^2-1=0$ の互いに異なる解であるという。 a, b の値を求め、このときの $A \cap B$ および $A \cup B$ を求めよ。

3. 次の式を因数分解せよ。

① $2x^4-26x^2+72$

② $2(x+1)^3-3x(x+1)^2-2(x+1)$

4. xy 平面において、放物線 $y=x^2$ が直線 $y=x+2$ から切り取る線分の長さを求めよ。

5. 半径 a の円に内接する正八角形の面積を求めよ。

6. 3辺の長さがそれぞれ4, 4, 6の三角形の面積およびこの三角形に内接する円の半径を求めよ。

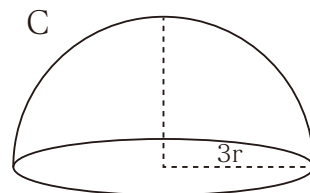
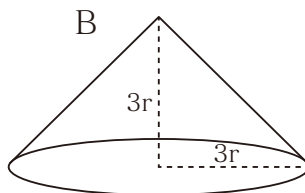
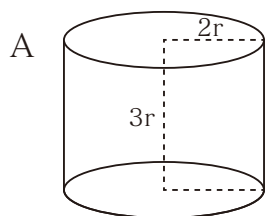
7. $\alpha + \beta = 5$, $\alpha\beta = \frac{11}{2}$ のとき、 $\alpha^2 + \beta^2$ および $\alpha - \beta$ の値を求めよ。ただし $\alpha > \beta$ とする。

8. 次の2つの不等式を同時に満たす整数 n をすべて求めよ。

$$2n^2+n-1>0$$

$$n^2-9\leq 0$$

9. 半径 $2r$ 、高さ $3r$ の円柱A、半径 $3r$ 、高さ $3r$ の円錐B、半径 $3r$ の半球Cの体積をそれぞれ求め、体積比を最も簡単な整数の比で表せ。



令和4年度入学試験問題解答例

国語〔一般選抜(特待生・I期)〕

〔1〕

問1	㊦ 放題	㊩ 征服	㊷ 痕跡	㊱ 疫病	㊴ 崩壊
問2	㊱ エ	㊲ オ	㊳ ウ	㊴ ア	㊵ イ
問3	川岸は近づけないほどのアシ原の湿地帯であり、空から見ると蛇がのたうつような川筋がない川でありながら、周辺に古代文明が栄えたこと。				
問4	水洗便所や下水道も見事に完備し、当時の他の都市のひどい生活水準にくらべて、ずばぬけた施設を持っていたから。				

〔2〕

問1	(a) 堅固	(b) 醸成	(c) 成熟	(d) 葛藤	(e) 飽和
問2	軌道に乗り出す、始まる、進み始める 等				
問3	(解答例) 若者の「本ばなれ」も、新しく興隆したメディアが「紙の本」を滅ぼすという危機の構図も、どちらもデジタル革命開始前から姿を現していたから。				
問4	(解答例) 周囲の状況を認識し、事件の記録のなかに腰を据え、十分な時間をかけて話を最初から最後までたどる。				

英語〔一般選抜(特待生・I期)〕

〔1〕

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
d	c	a	b	b
(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
d	a	c	d	d

〔2〕

aの次に 来るもの	bの次に 来るもの	cの次に 来るもの	dの次に 来るもの	eの次に 来るもの
d	e	a	なし	c

〔3〕〔解答例:解答は受験者によって異なる〕

(a)	Great, thanks. I went camping with friends.
(b)	Yes. It was refreshing to exercise and breathe fresh air.
(c)	No, I didn't. It was a nice night so we slept outside.
(d)	Actually, no. There were so many mosquitos.
(e)	Me, too. I have around 10 bites.

〔4〕

	①	②	③	④	⑤
(1)	b	a	d	a	c
(2)	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
	c	c	a	b	d
(3)	a	b	c	d	e
	○	○	×	○	○
	f	g	h	i	j
	×	×	○	×	×
(4)	解答は受験者によって異なる				

数学〔一般選抜(特待生・I期)〕

1	3以上の奇数は、 k を自然数として $n=2k+1$ と表せる。 $n^2-1=(n+1)(n-1)=(2k+1+1)(2k+1-1)=4k(k+1)$ となる。 $k(k+1)$ は連続した2つの自然数の積であり必ず偶数となる。よって、 $4k(k+1)$ は8の倍数であり、 n^2-1 が8の倍数であることが証明された。
2	与式を有理化すると $\sqrt{11}+3$ となる。 $3<\sqrt{11}<4$ なので、整数部分は6、小数部分は $\sqrt{11}-3$
3	① $(x+y-3)(x+y-6)$ ② $(x+y)(x-y)(x^2+y^2+xy)$
4	放物線と直線の交点は $(-2, 4)$ 、 $(5, 25)$ であり、2点間の距離は $7\sqrt{10}$
5	$x=1$ を与方程式に代入すると $2a+3a-a^2-4=0$ となる。これより $a=1$ 、4が求まり、いずれの a の値に対しても与方程式は $2x^2+3x-5=0$ となるので、他方の解は $x=-\frac{5}{2}$
6	正三角形の面積 $\frac{\sqrt{3}a^2}{4}$ 内接円の面積 $\frac{\pi a^2}{12}$
7	① 3個 (3, 4, 5) ② 8個 (-3, -2, -1, 0, 1, 2, 3, 4)
8	$\sin \theta \cos \theta = 0$ のとき、 $(\sin \theta + \cos \theta)^2 = \sin^2 \theta + \cos^2 \theta + 2\sin \theta \cos \theta = 1$ となることから、 $\sin \theta + \cos \theta = \pm 1$ となる。
9	平均値 6、中央値 6、分散 $\frac{3}{2}$ 、標準偏差 $\frac{\sqrt{6}}{2}$

国語[一般選抜(Ⅱ期)]

[1]

問1	㊦	㊩	㊨	㊤	㊜
	漠然	解消	無謀	果敢	混同
問2	㊱	㊲	㊳	㊴	㊵
	オ	ア	エ	イ	ウ
問3	問題やトラブルが起こりそうだと予測するために抱くもので、達人はこの恐れを感じ取ることができる。				
問4	迷うといっても、ある程度チェックポイントがわかって迷っている場合と、パクゼンと恐れや不安を抱いて迷っている場合があること。				

[2]

問1	(a)	(b)	(c)	(d)	(e)
	解釈	疎通	就任	異議	暗黙
問2	①	②	③	④	⑤
	3	1	4	2	5
問3	(解答例) 言葉を発するほうと受け止めるほうと同じ内容を共有しているとは限らない。解釈が異なることで誤解が生じることがある。				
問4	(解答例) 議論では埋められない衝突点をそれぞれが自分の思うように解釈することで、衝突を避けることができる。				

英語[一般選抜(Ⅱ期)]

[1]

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
b	c	a	b	a
(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
b	a	d	c	b

[2]

aの次に 来るもの	bの次に 来るもの	cの次に 来るもの	dの次に 来るもの	eの次に 来るもの
c	d	e	a	なし

[3] [解答例: 解答は受験者によって異なる]

(a)	Yes, I guess so. Why do you ask?
(b)	Let me see. Do you use your camera a lot?
(c)	Me, too. Definitely check the camera quality.
(d)	Let me think. Make sure it has a long battery life.
(e)	My pleasure. Glad I could help.

[4]

	①	②	③	④	⑤
(1)	d	c	b	c	a
	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
(2)	b	a	d	c	b
	a	b	c	d	e
	○	○	×	×	×
(3)	f	g	h	i	j
	○	○	×	○	×
(4)	解答は受験者によって異なる				

数学[一般選抜(Ⅱ期)]

1	$n=1$ のとき成り立つことは明らかである。 $n \geq 2$ のとき3の倍数でない任意の自然数 n は、 k を自然数として $3k \pm 1$ と表される。このとき $2n^2 + 1 = 2(3k \pm 1)^2 + 1 = 3(6k^2 \pm 4k + 1)$ となるので、3の倍数であることがわかる。よって、3の倍数でない任意の自然数 n について $2n^2 + 1$ は3の倍数であることが証明された。
2	与えられた条件より、 $a = -1, b = 1$ である。 $A = \{-2, -1, 1, 2, 3\}$, $B = \{-2, -1, 1, 2, 4\}$ なので、 $A \cap B = \{-2, -1, 1, 2\}$, $A \cup B = \{-2, -1, 1, 2, 3, 4\}$
3	① $2(x+2)(x-2)(x+3)(x-3)$ ② $-x(x+1)(x-1)$
4	放物線と直線の交点は $(-1, 1)$, $(2, 4)$ で、2点間の距離は $3\sqrt{2}$
5	正八角形を8等分した2辺の長さが a で頂角の大きさが 45° の二等辺三角形の面積を求めて8倍する。 $S = \frac{1}{2} \times a \times a \times \sin 45^\circ \times 8 = 2\sqrt{2}a^2$
6	ヘロンの公式を用いると、 $s = \frac{1}{2}(4+4+6) = 7$ であり、三角形の面積は、 $S = \sqrt{7 \times 3 \times 3 \times 1} = 3\sqrt{7}$ である。 内接円の半径を r とすると $sr = 3\sqrt{7}$ よって、 $r = \frac{3\sqrt{7}}{7}$
7	$\alpha^2 + \beta^2 = (\alpha + \beta)^2 - 2\alpha\beta = 25 - 11 = 14$, $(\alpha - \beta)^2 = (\alpha + \beta)^2 - 4\alpha\beta = 3$ で $\alpha > \beta$ より $\alpha - \beta = \sqrt{3}$
8	2つの不等式を解くと $-3 \leq n < -1$, $\frac{1}{2} < n \leq 3$ となり、求める整数 n は $-3, -2, 1, 2, 3$
9	A, B, Cの体積をそれぞれ S_A, S_B, S_C とすると、 $S_A = 12\pi r^3, S_B = 9\pi r^3, S_C = 18\pi r^3$ となるので、 $S_A : S_B : S_C = 4 : 3 : 6$

MEMO



問い合わせ

フリーダイヤル 0120-3739-20

T E L (0985)83-2100 (代表)

(0985)83-3406 (直通)

F A X (0985)83-3383

URL <http://www.mkjc.ac.jp>

E-mail info@mkjc.ac.jp